



Koudo de Choro

ジ

ヤ

ズ

伊

勢

物

語



COSMOS



「歌を忘れてジャズを聞け」

〔参考〕

世阿弥十六部集／花鏡 389頁

（岩波書店発行、著者 能勢朝次、昭和十五年八月二十日 第一刷発行／昭和三十五年十一月十五日 第六刷発行）

「批判之事」

… 批判に云つ、ときは忘れて能を見よ、能を忘れて為手を見よ、為手を忘れて心を見よ、心を忘れて能を知れと也…



## 序 ジャズ伊勢物語の成り立ち

伊勢物語は平安時代の在原業平の歌を多く含む古い歌物語です。作者、成立年代とも、いまだ不詳ということです。ジャズのスタンダード曲に触発された和歌があり、それに短い物語をつけて、それが、伊勢物語に似た形となり、「ジャズ伊勢物語」と名づけました。伊勢物語の現代語訳ではありません。和歌は旧かな使いの部分もあり、文語表現も多く、統一が取れていませんが、詠まれた通りのものをそのまま残しました。

現代から約1000年前の平安時代の文学を共感を持って読めるのと同じように、約1000年前の米国のジャズ曲を、伊勢物語とは違い、日本という異国の地において共感して聞くことができることが分かり、そこに、遠く離れた人の生活への共感という共通のあり方があり、伊勢物語を読むのと同じ楽しみを、スタンダードジャズを聞くことに見出すことができます。室町時代には、業平を含む平安時代の歌人の歌を、詞に取り入れた能の曲ができました。太鼓と笛の音曲には、ジャズと同じ音の楽しみがあります。世阿弥の名に代表される能と、ジャズとの繋がりについて、何か考えるべきことがあるように思います。

ジャズ曲を、自分の中にあるもつとも確かなものに遡って、そこから鑑賞し、理解することができることは非常に楽しいことでもあります。なぜそれができるのか分かりませんが、人は、大体において、似たようなことをしているもののようなのです。伊勢物語では、各段の短い物語があり、その後には和歌が添えられます。

ジャズ伊勢物語では、ジャズ曲が、タイトルだけです、まずあり、それが暗黙のうちには物語としてそこにあります。それに歌が添えられます。また、その歌の意味を平易な現代語の解説で表わしました。その後の短い物語は、現代を生きる人の刻印を押すために付加されました。そして最後に、ジャズ詩の和訳があります。それは歌ですから、歌って頂くことができます。そこから、もう一度最初の和歌に戻ってみて下さい。1曲のお話を1段とすると、全体として、48段の構成になります。「昔、男ありけり」の句を各段の短い物語の始めに想像して置いてみて頂きたいものです。伊勢物語の雰囲気、うまい具合にジャズと重なることを願っています。

ですから、これは、ジャズの地、米国を遠く離れた国で、自分の中の古くからあるものに従ってジャズスタンダード曲を楽しむ1つの方法です。

ジャズ詩の和訳ということ、通常の訳業と異なる特徴的なこととして、同じ言葉の繰り返しになる部分も、曲あるいは歌演奏の通常の進行通りに、そのまま詩本文としていきます。

最後に曲名索引があります。各段の曲名の前にある番号（0108）などは、ジャズソングブック（ブルー、レッド、グリーン）での通し番号です。曲名索引では、JSB番号として位置づけていきます。

2010（平成22）年4月16日（火）

記 美艇香津

# 目次

序	ジャズ伊勢物語の成り立ち	3
1.	(018) I'm Gonna Sit Right Down and Write Myself a Letter 自分に書く手紙	12
2.	(063) I Wanna Be Loved by You あなたに愛されたい	15
3.	(083) Stars Fell on Alabama 星降るアラバマ	18
4.	(019) In the Shade of the Old Apple Tree 林檎の樹の下で	20
5.	(035) South of the Border 国境の南	23
6.	(002) All the Way いっぴき いっぴき	26
7.	(040) Save the Last Dance for Me ラストダンスは私に	29
8.	( ) On a Hill by the Bay 港の見える丘	33
9.	(006) Come on-a My House 家においでよ	36
10.	( ) Love Me Tender ラブミーテNDER	40



11.	(036)	Tennessee Waltz	テネシーワルツ	43
12.	(001)	Ain't Misbehavin'	正しく生きよう行く	45
13.	(017)	I'm Confessin'	愛しているの	48
14.	(030)	Pennies from Heaven	空から銅貨が降ってきた	51
15.	(089)	We Three	私たち 3人	53
16.	(020)	I Surrender, Dear	もつぬあなたのもの	55
17.	(024)	Mack the Knife	マック・ザ・ナイフ	58
18.	(041)	Alexander's Ragtime Band	アレキサンダーズラグタイムバンド	60
19.	(073)	My Funny Valentine	マイファニーバレンタイン	63
20.	(090)	When the Saints Go Marching In	聖者の行進	66
21.	(003)	Am I Blue	ブルーな気持ち	70
22.	(028)	Once in a While	ふれども思い出さね	73
23.	(075)	On a Slow Boat to China	ボートでゆっくり、チャイナ	75
24.	(046)	Besame Mucho	ベサメムーチョ	80
25.	(039)	Where or When	どこか、いつか	83
26.	(011)	Foolin' Myself	自分びなべつ	86
27.	(034)	Sometimes I'm Happy	ふれども幸せ	89
28.	(120)	My Way	マイウェイ	92

44.	( )	Fallen(Autumn) Leaves	枯葉	137
43.	( )	East of the Sun, West of the Moon	日は東、月は西	135
42.	(005)	Diamonds Are a Girl's Best Friend	女の子はダイヤモンドが好き	132
41.	( )	As Time Goes By	時は流れても	130
40.	(037)	Try to Remember	6月の思い出	127
39.	(038)	What a Difference a Day Made	1日でもべつちな夜	124
38.	(023)	Johnny Guitar	シヨニー・ギター	122
37.	(031)	Release Me	その手をはなして	119
36.	(082)	Sophisticated Lady	キャリアウーマン	117
35.	(021)	It's a Sin to Tell a Lie	嘘は罪	115
34.	(013)	Goody Goody	よかったね	112
33.	(057)	Get Out and Get Under the Moon	月の光の照らす夜	107
32.	(029)	On the Sunny Side of the Street	陽の当たる通りに出よう	104
31.	(033)	Smoke Rings	スモークリング	102
30.	( )	Croce di Oro	クロッチェ・オーロ	99
29.	(052)	Cow Cow Boogie	カウボーイブギ	96

45.	(010) A Foggy Day 霧の日に	138
46.	(022) It All Depends on You あなた次第なの	140
47.	(068) Love for Sale 愛を売ります	142
48.	(053) Danny Boy ダニーボーイ	145
拾遺		149
後記		157
曲名索引		159



ジャズ伊勢物語

1. (018) I'm Gonna Sit Right Down and Write Myself a Letter 自分に書く手紙

[JASRAC:010-2110-8]

書きつらむ手紙いつしかも我からとまさりし思い君にたくせり

「解説」あなたへの手紙を書こうとしていたら、いつのまにか、自分の思いが余って、  
つい、あなたの思いを表わす自分宛の手紙のように書いてしまった。

中学生の頃、B5のノートに日記風に、思ったことや、睡眠時の夢の内容を詳しく書いていた。2冊か3冊か書いた。大学の頃までは持っていたが、その後の何回かの引越しの間に失くしてしまった。詩も書いていた。思い出すのは、「14歳」や「アングニョール (Un Guignol)」という詩のタイトル。「池の底に金魚がふらつく」、「思い出すのは笹笥の底の死の影 いくつか引つ張るものもなく 墜落する おれ自身を」だったり、「きゆりくむめれぬと」だ。

きまつた一人に宛てて手紙を書いて、それが「宛て所に尋ね当たりません」と戻ってきたときの困惑を思い出す。自分宛に書くならば、届かないということはない。

手紙を書いていて、あて先の人からの手紙に書き換えてしまつたというのは、もともと、手紙を書く宛てもなかったのかもしれない。

「訳詩」自分に書く手紙

手紙を書く自分に

あなたからと思つて

書く言葉は、やさしく

気持ちはもう夢中 最後にくくつもキスの跡  
そうだったらうれしい

伝えたい、「毎日楽しいといいね」

そしてきつと「愛してる」と書く

座つたらすぐに、手紙を書く自分に

あなたからと思つて

手紙を書く自分に

あなたからと思つて

書く言葉は、やさしく

気持ちはもう夢中

最後にいくつもキスの跡

そうだったらうれしい

伝えたい、「毎日楽しいといいね」

そしてきつと「愛してる」と書く

座ったらすぐに、手紙を書く自分に

あなたからと思って

あなたからと思って

作曲： Fred E. Ahlert

作詩： Joe Young

歌： Fats Waller



2. (063) I Wanna Be Loved by You あなたに愛されたい

[JASRAC:010-3130-8]

ただ愛されむ他の誰でもなくキスを許しぬあなたばかりに

「解説」愛されたいのは、他の誰でもなく、キスを許しもしたあなただけにです。

生まれた地元の町で一人で映画を見た。フェデリコ・フェリーニの「<sup>1</sup>/<sub>8</sub>」<sup>2</sup>と三島由紀夫の「切腹」がセットになっていた。中学生だったそのとき、フェリーニが好きになった。映画の中で、イタリアの孤児院が学校の寄宿舎の夜、ベッドで騒ぐ子供たちが囃し立てる「アサニシマサ」。映画の字幕にそう書いてあった。そして、修道院のシスターが来て叱るのだ。

マリリン・モンローがケネディ大統領に歌った「ハッピーバースデイトゥユー」の音は「パダムパダムドウビダプウ」と言ったのかも知れない。英語の言葉として意味のない記号言葉をカタカナで書くのは難しい。

「訳詩」あなたに愛されたい

お願いあなたに、

愛してほしいの、あなたに、

お願いあなただけに、  
ププピドゥ、

お願いあなたに、  
キスしてほしいの、あなたに、  
お願いあなただけに、  
キスしてほしいの、

ただそれだけ、  
それ以上はないの、  
あなたが欲しいから、  
パダムパダムドゥビダプウウ

お願いあなたに、  
愛してほしいの、あなたに、  
お願いあなただけに、  
愛してほしいの、

それ以上はないの、

あなたが欲しいから、

パダムパダム ドゥビダプウ

お願いあなたに、

愛してほしいの、あなたに、

お願いあなただけに、

パディドウル デイドウル デイドウルダム、ププビドウ

作曲： Harry Ruby, Herbert Stothart

作詩： Bert Kalmar

歌： Marilyn Monroe

3. (083) Stars Fell on Alabama 星降るアラバマ

[JASRAC:050-8690-5]

二人して星を見上げれば流れ星いくつも走りぬ心騒ぎず

「解説」二人で星を見ていたら、流れ星がいくつも走り、何かわからないことが起きるような気がして、落ち着かない気持ちになりました。

生まれた町の山に登ってふもとの方の町並みを見渡したとき、鉄道の駅、その近くを流れる北上川と中津川の合流地点、街の中心部への通りと城跡があり、一人でその山に行ける頃には、日本の暮らしが、もう、昔のようではないことが分かっていった。お正月は、もう、なくなり、なくなりかけて、街の商店は、何でもない日と同じように店を開けるようになっていた。

そこはもう、妖精の国ではなく、ベトナムでの戦争は始まっていた。山の上の展望台というところから、空と山を見て、家に帰った。

「訳詩」星降るアラバマ

私たち、ドラマね

白く光る野原でキスした、

昨日、アラバマの夜に、星降る、

その素晴らしさ、忘れない、

あなたの目はやさしく輝いて、

昨日、アラバマの夜に、星降る、

それは想像ではなくて、

信じられないことが起きたの、

そこは誰も入れない妖精の国、

その真ん中に、あなたと私、

心臓でハンマーが鳴り、

私の腕はあなたを包む

昨日、アラバマの夜に、星降る、

[repeat]

作曲： Frank S. Perkins

作詩： Mitchell Parish

歌： Billie Holiday

4. (019) In the Shade of the Old Apple Tree 林檎の樹の下で

[JASRAC:010-4510-4]

木苺の花甘く香りまた会つを疑わず行きし日また還り来ず

「解説」木苺の花の甘い香りがする中で、あなたと離れる日、私はまたきつと会える  
と思つていたはずですが、その日も来ないまま今日になってしまいました。

林檎の樹のところでおおつねと言ひし人今は静かに土に休めり

「解説」次に会うときは林檎の樹のところだと約束した人と、その後会うことはなく  
て、今はもう亡くなったその人のお墓のあるところに来ています。

東京に行くために、生まれた町を離れるとき、自分の中では何も失われずに、また会  
うことを疑いはしなかった。時間の距離が自分にはない。今日は昨日と継がっていて、  
30年前の昨日も今日の目の前にある。不意に誰かが戸を叩き、会つはずだった人は、  
言つた通りに公園の花の咲く木の下で待つていた。

約束を守るといつつこと言え、ここまで考えることは普通なことなので、自分で  
なく、他人が思いも懸けないことを考えるのに驚く。

「訳詩」林檎の樹の下で

林檎の樹の下で

ずつつと見つめていた

あなたの声が囁いた、

小鳥の歌のように

花に蜂が飛んで

聞いたあなたの言葉

「いつまでも、待っているわ

林檎の樹の下で」

〈Instrumental passage〉

花に蜂が飛んで

聞いたあなたの言葉

「いつまでも、待っているわ

林檎の樹の下で」

VERSE 2

街から戻ってきて  
悲しい気持ち、今は  
持ってきた花束を、きれいな  
お墓に置くために  
お願い、あの娘の眠る  
場所はどこか教えて  
教えよう、最後の言葉、私を  
林檎の樹の下に

作曲： Egbert Van Alstyne  
作詩： Harry Williams  
歌： Mills Brothers & Louis Armstrong  
： The Ink Spots



5. (035) South of the Border 国境の南

[JASRAC:050-7740-0]

国境を越え南の町を過ぎ行けば 結婚式の鐘の響けり

「解説」米国とメキシコの国境を越えて、南のメキシコのある町に入ると、結婚式の鐘の音が鳴り響くのが聞こえた。

国境を歩き来する中途半端なあんちゃんの見つけた思いがけない拾いもの。気に留めずに、いつか時が経ち、通り過ぎるある村で、自分とは違う人生の時が、同じように流れて行った。自分は何処へ行くのかも知らず通り過ぎるとき、何か確かなものはもう後ろにしかないと分かったし、背中に聞こえる鐘の音を振り向く神経も筋肉もないのだ。

アイヤヤヤと、言葉にならない叫ぶ声がある。

「訳詩」国境の南

南へ行く、そこはメキシコ、  
恋をした、星が空に光り

今は、さすらい、乱れる思い

サウス・オブ・ザ・ボーダー、今はメキシコ

絵のようにきれいな、着飾るスパニッシュレース  
うれしくてキスした、その笑顔に

お祭りで2人はしゃいだ、

サウス・オブ・ザ・ボーダー、そこはメキシコ

アイ、ヤヤヤ

アイ、ヤヤヤ

あの子がささやく、「明日ね」と

別れることは思わず

返すのは嘘のマニヤナ

明日はもうないから

国境の町、通ったある日、

白いベールとキャンドルに、

祈るあの子

教会の鐘、背中に

響く

サウス・オブ・ザ・ボーダー、そこはメキシコ

アイ、ヤヤヤ（アヤヤヤヤ）

アイ、ヤヤヤ（アヤヤヤヤ）

アイ、ヤヤヤ（アヤヤヤヤ）

グッバイ、グッバイ

作曲 & 作詩： Jimmy Kennedy, Michael Carr

歌： Gene Autry

6. (002) All the Way 五つでも、五つでも

[JASRAC:0A0-1480-3]

ずっと高くずっと深く思う我なれば直にぞ君を愛せしめなむ

「解説」あなたを思う気持ちは、とても高く、とても深いので、あなたにも私のことを同じような思いで愛させたいと思う。

新宿の歌舞伎町のキャバレーの呼び込みに従って、店の階段を下りて地下に入った。

安物の色紙や金紙、銀紙が洗濯物を干すロープにいくつも貼り付けられているような暗い室内を、赤や青や黄色の光が点いたり消えたりしていた。席に座り、話をして、何か飲んで、帰るとき、「ご請求額は、呼び込みの言った額よりずっと高かった。何事か起きるまでもなく、店の女が来て、店の迷路を通り抜け、地上への階段のある出口まで一緒に来るように言った。出口の所で、お互いに何か言つべきこともあったと思う。

「高く、梢より高く」からの4行を、好きな歌手が歌うのを聞いてみたいと思った。

「訳詩」いつでも、いつまでも  
愛することは

いつも愛すること、いつまでも  
そばに居てくれる

励ましてほしいときいつも

高く梢より高く

そう感じるごと

深く、青い海より深く

心の底から思う、本物なら

そばに居てほしいとき

いつも、そばに居ること

楽しくても、つらくても

そのいつでも何があっても

道がどこまで続くのか  
答えるのは愚か者、  
でも、愛していいって言って、そしたら  
愛する、あなたをいつでも、いつまでも

作曲：	James Van Heusen
作詩：	Sammy Cahn
歌：	Celine Dion
：	Brenda Lee

7. (040) Save the Last Dance for Me ラストダンスは私に

[JASRAC:050-0488-7]

ひそやかに我は待ち居り 思う人の戻り来つらむラストダンスまで

「解説」ひっそりと大人しくして、ラストダンスになる今までも、私はあなたが私の  
ところに戻るのを待っています。

ひそやかに我は待ち居り 宴果てラストダンスの声掛かるとき

「解説」ひっそりと大人しくして、その夜のパーティーも終わりのラストダンスを知ら  
せる声が聞こえる今も、あなたのことを待っている私です。

学生の頃、有楽町の日生劇場で越路吹雪を見た。その後、切符はいつも取りはくれた。  
ステージから遠い後ろの席。何かの曲で、「…捨てないで…」とか歌うのに驚い  
た。そんな気持ちには慣れていなかったわけだ。「愛の賛歌」もまた、自分には過剰  
で、「誰もいない海」も分らない曲だった。この「ラストダンス」や「ミロール」、  
「ろくでなし」なんかが好きだった。もちろん、「サントワマミー」も。

日劇も行ってる。何回か。2階のバーとやらで飲む予定は、予定のまままで終わった。

一緒に家に帰るはずの2人。一人でいて、もう一人がラストダンスで自分の所に戻って来るのを、そんなに心配しているわけでもないらしい。

「テネシーワルツ」の世界ならば、ラストダンスに対する気持ちも違つと思われる。

「ラストダンス」の音が響けり去り行きしきみが姿を追い求めつ

「解説」ラストダンスを知らせる声が聞こえても戻つてこないあなたの姿を、私はあたりを見回して探しています。

我が友とつい離れたるきみが姿ラストダンスにも見えずぞありける

「解説」私の友人と一緒に少しだけどこかに離れるよつになくなつたあなたは、ラストダンスの時間になつても、どこにいいのか分からなくなりました。



「訳詩」ラストダンスは私に

踊り続けていい、彼に

見つめられ腕を組み

微笑みを全部あげる

キャンドルライトで彼に

でも、お家に帰り、

眠るのはこの腕の中で

ラストのダンスは私に

すてきな曲に

シャンパンみたい、楽しそうに騒いだり

笑いながら歌うときも

心だけは離さないで

そして、お家に帰り

眠るのはこの腕の中

ラストのダンスは私に

こんなに愛していること

分かっているのに

そばにいてほしい、いつも

愛しているから

いつまでも踊っていていい  
夜明けまで、そして最後に  
一人なら送ると彼に  
言われても、断ってね

そして、お家に帰り  
眠るのはこの腕の中  
ラストのダンスは私に

そして、お家に帰り  
眠るのはこの腕の中で  
ラストのダンスは私に  
最後の踊りだけは  
最後の踊りだけは

作曲 & 作詩： Doc Pomus, Mort Shuman 歌： Manhattan Transfer
----------------------------------------------------------

8. ( ) On a Hill by the Bay 港の見える丘

[JASRAC:083-0104-2]

目に広き海と船とを眺めおり花びらの散りし風を思いぬ

「解説」海と船の景色が目の前に広がっている中で、花びらを散らす風のことを考えていました。

横浜の「港の見える丘」公園で、海面のすぐ近いベンチに座り、長い時間、何もしていなくても、やがて午後になり、帰った。

日本語の歌を英語にして、ジャズで歌うなら、きっと英語は驚くと思う。

「原詩」港の見える丘

あなたと二人で 来た丘は  
港が見える丘

色褪せた桜 唯一つ

淋しく咲いていた

船の汽笛 咽び泣けば

チラリホラりと 花片

あなたと私に 降りかかる

春の午後でした

あなたと別れた あの夜は

港が暗い夜

青白い灯り 唯一つ

桜を照らしてた

船の汽笛 消えて行けば

チラリチラリと 花片

涙のしずくで きらめいた  
霧の夜でした

あなたを想って 来る丘は

港が見える丘

葉桜をそよる 訪ずれる

潮風 浜の風

船の汽笛 遠く聞いて

ウツラトロリと 見る夢

あなたの口許 あの笑顔

淡い夢でした

作曲 & 作詩：	東辰三
歌：	平野愛子
：	ちあきなおみ

9. (006) Come on-a My House 家上へごじゆ

[JASRAC:000-4690-7]

我がくれしさまさまのもの取り見てはいつしか帰る時を過ごしぬ

「解説」私が見せたいろいろな面白いものや興味を引きそうなものに夢中になって、あなたは、帰る時間を過ぎても気が付かないで、今日は帰れなくなってしまう。

家の冷蔵庫に、りんご、アプリコット、いちじくがあり、ぶどうやザクロもあるかも知れない。キャンディ缶にはいろいろなキャンディ、フルーツ色の赤いのや黄色いの、茶色や透明なの、青や緑もある。クリスマスツリーには指輪のおもちやも懸けた。お腹がすいたら、ゆで卵と何か、フォアグラでも何でもおかずにして、ご飯も食べられるように準備ができています。

室の中をきれいに片付け、本棚に詩集、CDやレコードを聴けるオーディオコンポも置いて、軽いジャズを流す。自分のお給料だって全部あげてもいい。この小さなきれいな家で一緒に暮らせるなら。毎朝きれいな声で起こしてくれたり、夕方、明るい灯のともる窓辺で、温かい夕食を作って待っていてくれたら。一週間、月曜から土曜まではそんな日々が続いて、日曜日は休日しよう。

グリム童話みたいなこの歌。お嫁さんが入る小鳥かごに導く仕掛けがあって、青い鳥を探している女の子が、このお菓子の家に近づいて行く。

「訳詩」家においてよ

家においてよ、私のお家、  
あなたにあげましょ、キャンディ。

家においてよ、私のお家、

あなたにあげましょ、アプルに、プラムに、アプリコット、さあ。

家においてよ、私のお家、

家においてよ、私のお家、

あなたにあげましょ、イチジク、デーツ、ぶどうにケーキ、さあ。

家においてよ、私のお家、

家においてよ、私のお家、

家においてよ、私のお家、

あなたにあげましょ、キャンディ、

家においてよ、私のお家、

あなたにあげましょ、何でも、

家においでよ、私のお家、

あなたにあげましょ、クリスマスツリー

家においでよ、私のお家、

あなたにあげましょ、エンゲージリングに、ザクロの実、さあ。

家においでよ、私のお家、

おいでよお家に、おいでよ、

家においでよ、私のお家、

あなたにあげましょ、もも、なし、きれいな髪が好き、さあ。

家においでよ、私のお家、

おいでよお家に、おいでよ、

家においでよ、私のお家、

あなたにあげましょ、イースタエッグ

家においでよ、私のお家、

あなたにあげましょ、何でも



家においでよ、私のお家、  
おいでよお家に、おいでよ、  
家においでよ、私のお家、  
あなたにあげましょ、お給料全部に、小鳥かご、さあ。

家においでよ、お家に、  
おいでよお家に、おいでよ、  
おいでよ、私のお家、  
あなたにあげましょ、キャンディ

家においでよ、いつまでも、  
家においでよ、お嫁さんに。

作曲 & 作詩 : Ross Bagdasarian, William Saroyan 歌 : Rosemary Clooney
---------------------------------------------------------------------

10. ( ) Love Me Tender リブミーテナー

[JASRAC:0L0-4420-3]

椿咲く大寺の鐘の鳴る中に妹と相見し日の歌忘れず

「解説」椿の花の咲いている中で、その日、鐘楼の鐘が鳴り、歌われた歌の調べと響きは忘れることはありません。

相見ては来む日約せる己が名の記せる文字の滑らかならず

「解説」その日に署名を記帳した文字が、我知らず、緊張のためか、滑らかな線が描けず、揺れたような線の筆跡になりました。

その日、ホテルのロビーで式出席者がお茶を飲み、何ともなく話しをしたとき、戦争の体験を話す妻の父の話に、周囲が耳を聞き澄まし、ボーイが、サービスで追加の品を持ってきてきてテーブルに置いたということをし、後で、母から聞いたことがある。

「訳詩」ラブミーテンドー

愛して

優しく

離れずに

あなたと生きる

私の愛

真実の

愛に、

かなう夢

あなたを愛する

いつまでも

愛して

ずっと

心から

私は生きる  
あなたのそば

愛して

聞かせて私だけと  
あなたの私  
時の限り

作曲： PD (George R. Poulton)
作詩： Elvis Presley, Vera Matson
歌： Elvis Presley

11. (036) Tennessee Waltz テネシーワルツ

[JASRAC:0T0-1900-4]

うれしくて何も思わず過ぎ行くに 我は大切なものを落としたりき

「解説」嬉しくて、それ以外のことは何も考えられなくていたら、私は大事なものを落としてしまいました。

会社のある上野の昭和通りから山手線のガード下に出て、そこで、ラーメンギョーザを食べる。大振りの餃子が売り物で、いつも行列ができていた。そのはず向かいには、半分屋台の、屋根なしのテーブルと椅子で食べる中華の店があり、レバーニラ定食が旨かった。少しサラリーマン向けの、昔からある感じの飲み屋があつて、昼過ぎから、もつ、客はよく入っていた。

そこで、食べるなり、飲むなりして、アメ横を通り、好きな魚や、肉を買って帰る。魚を3枚におろすこともその頃練習したのだ。

テネシーワルツをパティ・ペイジは決して悲しく歌わない。誰でも、大切なものを失い、大人になつて行くのだと思う。小さな子が、いろんな宝物を落としてしまつよつに。

「訳詩」テネシーワルツ

踊ったすてきな

あのテネシーワルツ

友達を、

見つけて、

彼にも教えて、

二人は踊り、

戻らない

あの人

思い出の夜

あのテネシーワルツ

失くした

大切なもの

あの人はもういない

あの夜のダンスで

テネシーワルツで

作曲： Pee Wee King

作詩： Redd Stewart

歌： Patti Page

12. (001) Ain't Misbehavin' 正しく生きよう行く

[JASRAC:0A0-0940-1]

約束を断り一人ラジオを聴く仕事終わりに室に憩いぬ

「解説」会社の終わった後の飲み会とかの約束は全部断って帰り、一人で室でラジオを聞いてゆっくりしています。

仕事を6時に終わり通勤の電車に乗って帰る。

アパートのドアを開けて、ラジオをつける。聞きながら、背広を着替える。魔法瓶の少し冷めたお湯でインスタントコーヒーを作って、椅子に座る。

きょうも、会社の何人かが群れて、飲みに行くらしい。

誘われる前に、手早く会社の机の上を片付けて帰って来た。

これって、マザーグースのジャック・ホナー君みたいに、世の片隅でクリスマススのパイを食べているのと似ている。

一人でこうしていて、あなたの中に、きっとこの気持ちがあるように降り積もることを考えている。

「訳詩」正しく生きて行く

話もしない

ずっと一人

誰と歩きもせず

でもそれで幸せ

正しく生きて

愛をためるの、あなたに

決めてるの

愛する人

遊びは終わり

思うのはあなたのこと

正しく生きて

愛をためるの、あなたに

まるでジャック・ホナー



隠れて

出かけず

そわそわと

あなたのキス、待っているのほんとうなの

夜遊びなし

行きたいところもない

8時には家で

一人でラジオ

正しく生きて

愛をためるの、あなたに

作曲： Harry Brooks
作詩： Andy Razaf, Fats Waller
歌： Louis Armstrong

13. (017) 'I'm Confessin' 愛の告白

[JASRAC:010-1950-2]

いつか友達となる日を怖る 愛すれば己が心を繰り返し告ぐ

「解説」いつの日にか、友達ということが終わってしまうのではないかということ  
考えると怖くて、愛しているという気持ちを、何度もあなたに言っている私  
です。

会社を作り、社員を募集し、その社員は順次辞めて行った。何年かして、40人近く  
が会社を通過して行った。その同窓会が開けるぐらいに。

何とかの法則によると、起こらないで欲しいことは必ず起こる、という。何度も言う  
愛の言葉、でも、いつか友達になることは決まっています、それは夢の中で言っている  
のかもしれない。

「訳詩」愛してるの

愛してるの、あなたを

あなたは私が好き？

愛してるの、あなたを

うそじゃない、そばにいて欲しい

私を愛してる目

でも、そう言うてはくれない

違っつて言ってるの、

私を悲しくさせるため？

いつか行ってしまうのが怖い

友達でいようねって

あなたがいないと、落ち込んでしまう

生きてるすべてはあなたのため

私を好きだという思いこみなの？  
あなたの夢を見ても、夢なの？  
愛してるの、あなたを  
何度でも言っわ

いつか行ってしまうのが怖い  
友達でいようねって  
あなたがいないと、落ち込んでしまう  
生きてるすべてはあなたのため

私を好きだという思いこみなの？  
あなたの夢を見ても、夢なの？  
愛してるの、あなたを  
何度でも言っわ

作曲 & 作詩 :	Doc Daugherty, Al J. Neiburg, Ellis Reynolds
歌 :	Perry Como
:	Louis Armstrong

14. (030) Pennies from Heaven 空から銅貨が降ってきた

[JASRAC:0P0-1600-0]

銅貨降るつつましやかな幸せを君と二人で傘に集めり

「解説」空から降ってくるとしても、それは金貨でなく、銅貨だけど、それでも幸せだと思ひ、あなたと二人で、傘いっぱい集めようと思ひます。

会社を作り、外人を雇った。フランス系カナダ人。1年で終わり、その後、仙台の英会話学校で教えて、その後には、銀行のコンピュータ関係のことで仕事を継いでくれようとした。あの当時、黒人の技術者を面接し、イギリス人でなく、スウェーデン人を採用した。イギリス人は意外らしくその理由を尋ね、スウェーデン人は、結局、入社しなかった。

あの当時は、空から降ってくるのは金貨でないと満足しなかったかも知れない。

「訳詩」空から銅貨が降ってきた

雨が降ったらいつも  
銅貨が空から  
降ってくる、雲には  
銅貨がぎっしり

みんな君のフォーチュン  
街に、落ちてくる、  
逆さにして、傘を、しっかり持って、  
集めてお日様とお花に換えよう

愛のためには  
雨にも降られて、  
雷でも、  
木に隠れないで  
空から降ってくる銅貨が、  
2人に

作曲： Arthur Johnston

作詩： Johnny Burke

歌： Billie Holiday

15. (089) We Three 私たち、3人

[JASRAC:0W0-3002-5]

三人の仲間で歩むそれぞれに孤独な心影と声と我

「解説」三人の仲間だけど、それぞれ、孤独で寂しい気持ちでいるんだ。ぼく達、自分の影と、自分の声と、自分自身、なんだ。

会社勤めの通勤で、新幹線の東京 - 新横浜を利用するときもあった。新幹線の15分は楽しい時間だったことは確かだ。わずかの時間に、急いで休み、コーヒを飲む。同じ時間に決まって乗り合わせる人もいた。車両の継ぎ目のデッキで、タバコを飲む男に、「禁煙です」と注意したその人と少し会話したが、いつかその仕事も終わってしまった。

一人の自分の中に、3人も仲間を見つけたとき、それぞれは寂しくても、同じ願いを共有しているのだから、寂しくないとと言える。

「訳詩」私たち、3人

3人、みんなさびしい  
思い出に生きている  
声と、影と、わたし

3人は、騒ぎもせず  
親しくもない  
声と、影と、わたし

月の光がきれい  
銀色に輝いている  
影と一緒に、  
声とお話、  
でも、愛する人はいない

3人で、その人を待つ  
いつまででも  
声と、影と、わたし

作曲 & 作詩 : Cogane Nelson, Sammy Mysels, Dick Robertson 歌 : The Ink Spots
-------------------------------------------------------------------------------



16. (020) I Surrender, Dear もつあなたのも

[JASRAC:010-2860-9]

極まりよく対応しつつ心には寂しき思い君に頼りつ

「解説」てきはきといろいろ仕事をこなしているように見えるかもしれませんが、心の中では寂しくて、あなたのことをずっと思っています。

コンピュータプログラムを作るのに、工場の中の建物で仕事をした。忙しくて、何日も工場に泊まり、仕事をする。深夜、他の人たちが眠ってしまい、翌朝早く起きるまでの時間、ただ一人、いくつも並んだパソコン端末の1台の前で、キーを叩き続ける。その成果は、必ずしも完成を保証するものではなくても。

降伏を宣言することなどまったく考えずに、朝までの時間が過ぎて行く。

「訳詩」もうあなたのもの

離れたふりのゲーム

でも、私にはもうできない

あなたなしに、歩けない

あなたに負けたの

お高く止まり、明るく振舞う

それはみせかけ、そうじゃない

心の奥で言う、

もうあなたのもの

つまらないことをしてる

ゲームみたいに、

愛して欲しいのにスパイスのつもり

でも、もう何を言われてもいい

星が瞬き、夜が始まる  
さびしい私の声が聞こえる？  
あなたを愛してる、命のすべて  
もうあなたのもの

作曲： Harry Barris

作詩： Gordon Clifford

歌： Bing Crosby with Gus Arnheim Orch.

： Louis Armstrong

17. (024) Mack the Knife マック・ザ・ナイフ

[JASRAC:0M10-18940]

恐ろしきナイフを振るい暗闇を鮫の如くに潜み行きけり

「解説」暗闇の中を、まるで深海鮫のように、だれにも気付かれず、音もなく、しかも、周囲をはばかることなく、威圧しながら進んでいくあなたは、ナイフで恐ろしいことをするのも躊躇わない存在なのだと思う。

カタカタと真夜中、さらに深夜も過ぎて、朝にはまだ早い時間、コンピュータの端末を叩き続ける。広い、誰もいない、作業用端末が整然と何十台も並んだ作業室で、終わっていないコーディングのキーを叩き続ける。遅れている作業予定の線表からはもう何の催促の声もなく、進めるだけ進めればよいのだ。一緒のグループの作業者も、今日はもう、夜遅い仕事を終え、どこかで仮眠している。目を覚まし、走り続ける、マラソンのトップランナーのように、気分をハイにする脳内物質が体を今は支え、誰かがドアをそっと開き、また出て行く気配がした。

朝になったら、近くのホテルのコーヒートーストで少しゆっくりする楽しみもある。

「訳詩」マック・ザ・ナイフ

鮫のように、鋭い歯を：真珠色に光らせ、  
まるでジャックナイフ、持つてるマック：隠して、見せない。  
鮫が噛み付き、その歯で：真つ赤な傷口が裂ける  
刺繍の手袋で、だからマックの手には、そう：血の跡はない

舗道の脇、日曜の朝：流れる血の、眠り

誰かがそつと隠れて行く、：角を曲がり消えるマック・ザ・ナイフ  
タグボートから、川の中へ、：セメント袋、ずり落ち、

あの重さの、袋のセメント、街にいるのは、マック・ザ・ナイフ

ルイ・ミラー、見かけないが：金も引き出されてすつかりない  
景気のいいマックは、船乗りみたいだ、：何かあった、はずだ。  
スーキー・トーディ、ジェニー・ダイバ、ポリー・ピーチャム、  
いい奴だったルーシー・ブラウン

だから、これは、きつとそつだ：街に帰ったナイフのマッキー

作曲： Kurt Weill

作詩： Bertolt Brecht (英訳： Marc Blitzstein)

歌： Louis Armstrong

18. (041) Alexander's Ragtime Band アレキサンダーズラグタイムバンド

[JASRAC: 0A0-1170-7]

楽隊が通る街賑やかに踊り手は手を振り人を招きつつ行く

「解説」何かのパレードで楽隊と踊り手を通るのを見物していた。踊り手は踊りながら、見物に向かって、あちこち手を振ったりしていた。

横浜の大通りを歩いていると、楽隊のパレードが次々とやって来た。

両側の舗道は見物の人が厚い人垣を作っていた。

ジャズ楽団の一隊が賑やかに通り過ぎて行くその中に、ひときわ、切れるサクソフォンの音が流れる。バンドリーダーだろうか。それもやがて、遠く離れて聞こえなくなつた。

「訳詩」アレキサンダーズ・ラグタイム・バンド

来て聞いて、来て聞いて、アレキサンダーズ・ラグタイム・バンド  
来て聞いて、来て聞いて、世界一のバンドさ

聞いたこともない、ラッパの音、

いつのまにか勇氣も湧く、

最高のバンドさ、さあ、みんな、

来て聞いて、来て聞いて、一緒に手を繋いで、

あの人、バンドのリーダーのところに行こう

スワニーリバーをラグタイムで聞きたいなら

来て聞いて、来て聞いて、アレキサンダーズ・ラグタイム・バンド

来て聞いて、来て聞いて、アレキサンダーズ・ラグタイム・バンド

来て聞いて、来て聞いて、

世界一のバンドさ

(whistle)

聞いたこともない、ラッパの音、  
最高のバンドさ、さあ、みんな、

来て聞いて、来て聞いて、

来て聞いて、来て聞いて、一緒に手を繋いで、

あの（すごい）人の、今話したあの人のところに行こう  
バンドリーダーのところ、

スワニールバーをラグタイムで聞きたいなら

来て聞いて来て聞いて、

アレキサンダーズ・ラグタイム・バンドを

アレキサンダーズ・ラグタイム・バンド

作曲 & 作詩 : Irving Berlin

歌 : Bing Crosby & Al Jolson



19. (073) My Funny Valentine マイファニーバレンタイン

[JASRAC:0M10-8950-2]

バレンタインと呼びし少年の大人になりて我を去り行く

「解説」バレンタインという名前の可愛い少年がいたが、いつか大人になり、自分のそばにはいなくなってしまった。

湘南の海でさくら貝を拾う。腰越漁港から江ノ島に渡る橋のあたりまで、散歩のついでに足を伸ばす。朝、波打ち際から、目の届く範囲の砂浜を、ピンクに光るさくら貝を探す。見つけたら、砂から取り上げ、その砂を、海の波の引返す瞬間に洗い、薬の空の小瓶に入れる。蓋を捻って閉めて、また探し始める。大きなものは、幅3cm、小さなものは1cmぐらいだろうが、多くは貝の片側で、2枚上下に継がったものは少ない。1つ1つ拾いながら、何ごとか呟く。家に帰ったら、玄関の靴箱の上にこの瓶を置こう。既に1つの、さくら貝の一杯に詰まった小瓶があるのだ。バレンタイン少年も、黙って、少し壊れた笑いを笑った。いつまでも変わらないこと、それはできない。

「訳詩」マイファニーバレンタイン

マイファニーバレンタイン

可愛いバレンタイン

私をなごませる

おかしな顔で

写真は無理

でも、芸術品ね、大好き

ギリシャ彫刻でないし、

口元は少しゆるくて、

話すのに開くとき

もつれそう

でも、何にも、

変えないで、好きなの、

ここにいて、バレンタイン

どの日もバレンタイン・デイ

ギリシャ彫刻でないし、  
口元は少しゆるくて、  
話すのに開くとき  
もつれそう

でも、その髪は  
変えないで、好きなの、  
ここにいて、バレンタイン  
どの日もバレンタイン・デイ

作曲：	Richard Rodgers
作詩：	Lorenz Hart
歌：	Frank Sinatra
：	Chet Baker

20. (090) When the Saints Go Marching In 聖者の行進

[JASRAC:0P4-0212-1]

高らかに笑いつつ行く聖者達 我も混じりて行進せむか

「解説」聖者と呼ばれる人たちが一緒に並んで行進する夢を見た。みんな、大きな口を開けて笑っていた。それを見て、自分もその中に混じって一緒に歩きたいと思った。

おもちゃ屋の店先にワニのぬいぐるみを探して歩く。上野、銀座、澁谷、それから、原宿まで。地下鉄で、冬の夕方、クリスマスのイブイブ、既に日は暮れて、それらしく明るいネオンが街を照らし出している。ビルの上にあるおもちゃ屋で、ピンクのワニのぬいぐるみを見つけた。やや大きいのと小さいの、ちょうど、いろいろ動物のぬいぐるみの山の中に顔を出していた。世の中に同じ考えの人もいるらしい。なぜかワニのぬいぐるみはどこにも見つけられなかったのに。

サンタクロースが街々を駆け回っているとき、遠くの目的地に向かうサンタクロースの一人は、袋を肩に、一列に並んで行進し、歩いて行く。

クリスマスにサンタクロースの扮装をした人が見知った人だったとき、その人はなぜ赤い服をきているのだらうと疑問に思った。

「訳詩」聖者の行進

旅をする、道の

足跡をたどって

私たち、また出会う（でも私たちまたきつと出会う）

新しい、海辺で（新しい世界が始まる）

聖者の、Oh、行進

聖者が行くとき

Oh、私も入りたい

聖者の行進

お日様が輝きを止める（始める）

お日様が輝きを止める（始める）とき

Oh、私も入りたい

聖者の行進

お月様、血の色で

お月様が、赤い血の色、

Oh、私も入りたい

聖者の行進

新しいとき（革命）が来る

新しいとき（革命）が来るとき

Oh、私も入りたい

聖者の行進

その日に、ハレルヤ

その日に、ハレルヤ

Oh、私も入りたい

聖者の行進

金持ちが働く

金持ちが働くとき

Oh、私も入りたい

聖者の行進

トランペットの呼ぶ声

トランペットの呼ぶ声

Oh、私も入りたい

聖者の行進

空が澄んで、きれい

空が澄んで、きれいなとき

Oh、私も入りたい

聖者の行進

悩みだけ、それだけが

私たちのもの、だというけど

でも私は朝を待つ

世界が現れるとき

みんなに食べる物が

みんなに食べる物があるとき

Oh、私も入りたい

聖者の行進

私たちの、リーダー  
あいつが、泣くとき  
Oh、私も入りたい  
聖者の行進

作曲：	Traditional
作詩：	Traditional
歌：	Louis Armstrong

21. (003) Am I Blue ブルーな気持ち

[JASRAC:0A0-1970-8]

捨てられしならむ 昨日までと変わり朝顔の花憂しと思いぬ

「解説」私はもう捨てられたのかもしれないと思う。朝顔の花も、昨日と違って、その青い色を見ると、何か、寂しい、憂鬱な気分になってしまふ。

朝顔が庭に咲いた。何本かの蔓の上から下までそれぞれに青と淡いピンクの朝顔が咲いた。いくつかは蕾のまま。その薄淡い色合いに少し物足りなく思いながら、日が高くなったら、朝顔のことはもう忘れているに違いないと思った。

朝顔が、日が高くなって、「寂しいの？」って誰かに聞かれたら、「見たらわかるでしょ。」と答えると思っ。



「訳詩」ブルーな気持ち

「朝、夜明け前の早い時間だった、いきなり、彼が行くって分かったの。ひどいわ、なぜ、そうしなくちゃいけないの？前にこんなことはなかったのに。」

落ち込むわブルー。

とつてもブルー。

涙で分かるでしょ。そうなの。

「寂しい？」って聞くの？

平気なの、あなた？

彼のこと、

だめになったら、

そうですよ？

そう、昔はね、

彼は私だけで、

今は違う、

一人で、悲しく、寂しい。

明るくて、

今日までは。

今、彼はいないわ、終わったの。  
とつてもブルー。

作曲： Harry Akst
作詩： Clarke Grant
歌： Billie Holiday

22. (028) Once in a While じつじつを思ふこと

[JASRAC:000-2020-8]

時過ぎてふと思ひ出ぬ去りし人の我が思ひ出は如何にかあるらむ

「解説」ずいぶん前のことになるけど、もう別れてしまったあの人のことを思ひ出すこともあって、そのときは、私のことをあの人は今はどう思っているのか知りたくなる。

ポストンに出張した4週間の最後の日、ホテルに戻り、チェックアウトの用意を済ませ、最後の米国の夜の「TV」を見る。翌朝は、早い時間の出発なので、すぐにベッドで目を閉じた。明日の朝、彼ら（米国チーム）は、日本語版リリースのソフト一式をFDに焼いて、渡すはず。今日はとつとつ、手元には届かなかった。それを受け取り、手配済みのポストン空港までのハイヤで、もう帰るだけだ。

翌朝早く、まだFDの到着の知らせはなく、フロントに出てチェックアウトし、荷物を手を外に出る。ハイヤが来さえすれば、ただ、それに乗り、運ばれるだけ。手ぶらでもいいのだ。1台の車がホテルのフロントの前庭を優雅に回り、目の前に止まった。ハイヤのリンカーンだ。初老の運転手に、念のために、あらためて料金を聞く。車ももう一台、ホテルの前庭を周回し、目の前に付けた。日本チームの2人がFDの入った箱を2箱手渡してくれた。ジャストインタイムに。そのままリンカーンで帰途に着いた。空港までの朝の道路は晴れて、明るく、運転手との会話も、なれない耳に

少し分かり、当たり前のように、すべてが終わった。  
あのとときの運転手、ホテルのフロントマン、日本チームの二人は、このときのことを  
思い出すことがあるのだろうか。

「訳詩」ときどき思い出してね

思い出、ときには、私のことも？

誰か、あなたのそばにいても

ふたりで過ごした日の夢は見る？

もう別れてしまっただけ

燃え尽きた愛の火花、残っていないの1つも？

思い出の火花、もう、燃え上がることはないのかしら？

遠い日の思い出だけでいい、私、

あなたの思い出にいるなら

作曲：	Michael Edwards
作詩：	Bud Green
歌：	Ella Fitzgerald
：	Frank Sinatra & Tommy Dorsey

23. (075) On a Slow Boat to China ボートでゆっくり、チャイナ

[JASRAC:000-1450-0]

金色に光れる小舟に君を乗せて遠き浜辺に漕ぎ寄せ行かむ

「解説」池に浮かぶような、手でオールを漕ぐ小舟に、あなたと二人乗り、ずっと遠くの島の方まで、その浜辺まで漕いで行きたいと思う。きっとその小舟は金色に輝いていると思う。

ボストン近郊の町へ行くのに、成田から飛行機で、シカゴ経由でボストンに着いた。空港でレンタカーを借り、目的地のホテルに向かう。当時ボストンでは、小澤征爾が交響楽団の指揮者でいた。日本から行ったグループは、その後、3〜4週間居て、1月の感謝祭の頃帰国した。感謝祭のボストンは、昔の日本のお正月のように、店は閉まり、仕事の雰囲気はなかった。

遠くの国に船で行き、邪魔する者のいないところに二人居て、月は輝き、うろたえ騒ぐ者たちの遠くの岸辺が屋気楼のように浮かぶのだ。

「訳詩」ボートでゆっくり、チャイナ

あなたと行く、

ボートでチャイナ、

誰にも渡さず、

ずっと胸に、

抱きしめ、

ライバル達は、

遠くの浜で泣いている（待つだけ！）、

海の間で、

月は大きく輝き、

あなたの心も溶ける、

あなたと行く、

ボートでチャイナ、

誰にも渡さず、

– spoken :

“who’s steering the boat?”

“who’s steering this boat?”

“waiter!”

“may i get a drink around here, now uh...?”

“you ever been on a cruise?”

“neither have i!”

(instrumental)

“...isn’t that a good one?”

“yes, can i see you later, you bet!”

“excuse me, i have to go back to the bandstand now”

あなたと行く、

ボートでチャイナ、

誰にも渡せず、

舵はゆがみ、

セイルも少し裂けて、  
漂い、夢を見る  
コンパスも海に投げる

海の彼方、

どんな騒ぎも遠く、  
あなたの心も溶ける、  
大好きなあなたと、  
ボートでチャイナ、  
誰にも渡さず、

**(I have to go now)**

**(wait! don't leave!)**

大好きなあなたと、  
ボートでチャイナ、  
誰にも渡さず、



– spoken :  
“you know our last set is at two”  
“i get off after that”  
“what you doin’?”  
“would you like to take a stroll around the upper deck?”  
“see you then”  
“maybe, oo-hoo”

作曲 & 作詩 : Frank Loesser 歌 : Jimmy Buffett
----------------------------------------------

24. (046) Besame Mucho ベサメムーチョ

[JASRAC:0E2-2671-6]

心に思うこと何もいらすしてただ口を強く吸われたし今

「解説」愛しているとかいないとかはどつでもいい。今はただ、抱いてキスして欲しいの。

日本橋のはずれのビルのエレベータで行った上の階に、3階か、4階かのバーに座っている、オカマのママが、まだ早い時間の店内を整え、客の一人と立ち話をしたり、落ち着かなく開店の準備をしている。カラオケで誰かが「夜霧よ今夜もありがとう」を歌い、ママが気を利かせてフロアに誘う。席のソファで客の女がヒステリックに叫ぶ、「私が……」、ママが大急ぎで駆けつけ、何か宥めるようなことを言った。

YouTubeで見る女歌手は、もう昔に習い終わったはずの恋の歌を歌い、灰になっても変わらない愛の夢を紡いだ。

「訳詩」ベサメムトチヨ

ベサメ、ベサメムチヨ

あなたとのキス、

いつか終わっても、

ベサメムチヨ

私を抱いて、

私だけを、

こんな嬉しさは

初めて、この

震える気持ち

思いもしない、

抱き締め、

ささやく、「あなたが好き」

あなたが離れるとき、  
夢も飛び去り  
私は終わる  
ヘサメムチヨ  
ずいじょうとして  
夢を見わけて

(Spanish) Besame, **BESAME MUCHO**,  
Como si fuera esta noche la ultima vez,  
**BESAME MUCHO**,  
Que tengo miedo perderte, perderte otra vez,  
Quiero tenerte muy cerca, mirarme en tus ojos,  
Verte junto a mi,  
Piensa que tal vez mananan yo ya estare lejos,  
Muy lejos de ti,

作曲 & 作詩： Consuelo Velazquez

英訳： Sunny Skylar

歌： Josephine Baker

25. (039) Where or When ヲリがで、いつか

[JASRAC:0W0-3130-7]

いつしかも会いしにやあらむ誰も知らず 笑い愛せる時を思いぬ

「解説」いつか以前に会ったことがあるかどうか誰も知っていないけど、私は知ってる。あのお互いに笑いあって過ごした日のことを思い出します。

いつしかも会いしにやあらむ懐かしき声と姿を互みにぞ見つ

「解説」いつか以前に会ったことがあるのかも知れませんが、その声と姿はなぜか懐かしい気持ちで見えてしまいます。あなたもそんな感じがしているから、そんな風に私のことを見るんですよ。

夜、明るいネオン通りに囲まれて、傍らの地下への小さな入り口、階段のぼんやり灯の灯る先を見た。舗道の看板には今夜のライブの出演者の名前があった。ボーカル(Vo)に見知った名前を見て、長い階段を潜り、木製の重めの扉を押して入った。女のジャズ歌手が歌った歌は、陽気で、小さなハンマーで人の心を叩いた。そして、歌の意味は曖昧なままに、ぼけ老人の歌を歌った歌手は、越路吹雪を思わせる動きと表情を見せて、その回のステージを終わった。このとき思ったのは、「シャンタールレアリテ (Chanteur Realite)」という思いつきの言葉で、「シャンタールベリテ (Chanteur Verite)」かも知れないと思った。

初めてのことでもう一度起きてるなら、それは初めてのことではないし、また、やっぱり初めてのことでもいいとも思った。デジャビュ（既視感）だということの歌。それが初めてのことについてのことなら、記憶はどこまでも遡るのだから。

いつしかも会いしにやあらむ初めの日 我さえ人も覚えざるめり

「解説」いつか以前に会ったことがあるかも知れない。その初めて会った日のことは、あなたも、私自身も、覚えていないようです。覚えていないということだけは、ほぼ、間違いないことのようにです。

いつしかも会いしにやあらむ懐かしき思い浮かびて心騒ぎぬ

「解説」いつか以前に会ったことがあるんでしょうか。懐かしい気持がして、心がどきどきしてしまいます。

「訳詩」どこかで、いつか

会ったことがある私たちね、

同じように、二人見詰め合った、

でも、思い出せない、そのとき、

そのとき着てた服も、覚えてるし、

今も、笑ってる、でも、

思い出せない、その場所

そのとき初めてのことが

もう一度、起きてる気持ち、

笑って、愛し合った、

あのとき、でも、もう分からない、

いつどこかは

作曲： Richrd Rodgers

作詩： Lorenz Hart

歌： Harry Connick, Jr.

: Peggy Lee

26. (011) Foolin' Myself 自分でなくて

[JASRAC:0:F0-0991-3]

人の見るとき我は振り舞い捨て行きぬ 心の思いあきらめしに似て

「解説」人が見ている中では、私はそれなりに仕事をしているように見せているけど、本当に心で思っていることは考えないようにしているんです。それって、諦めてるのとおなじことも知れませんが。

銀座の新橋寄りのジャズライブの店に、地下への階段を下りて入った。ジャズを聞きながらワインを飲むというアイデアに自分で感心しながら、歌を聞き、グラスを倒さないように気をつける。

ビリー・ホリディの「フーリンマイセルフ」を歌う歌手がいて、その当時の米国の「フリントン」大統領との駄洒落でジャズライブの客の笑いを取った。

聞きながら、酒場の客の入りを確かめ、次のステージに歌う演目の構成を考え、終わった後の今日の帰りの予定、や、今週、今月、の予定のことを、いろいろ考えるのだから。その日のピアニストは、ずい分とピアノを強く叩き、彼女のステージ衣装の肩の金モールが心細く揺れた。



人の見るとき我は振る舞うばかりにて鏡に一人我を確かむ

「解説」人が見ている中では、私はそれなりに仕事をしているように見せているけど、それは本当の自分ではないと思っていて、後で一人になったときには、本当の自分を確かめるために鏡に見入ったりします。

「訳詩」自分でなくて

あなたのこと、考えないようにしても、  
なぜか、

そつしようとしている、  
自分が分からなくなるの

「終わったの、何もかも、  
もう関係ない」、そう言い  
あなたを遠ざけ、  
毎日嘘をついてる

「気にしてない」、そう、友達に言う、  
そして肩をすくめて見せる  
でも、みんなは知ってるの、自分に  
嘘をついてるだけ

ふとしたときにいつでも、  
鏡で自分を見て、  
帽子を指であげて言うの、  
「こんにちは、おばかさん、  
人生をあきらめてる」

楽しく振る舞い  
立派にして、  
あなたを見つけるときは、いつも  
知らない振り、  
でもそうして  
嘘をついてるだけ

作曲 & 作詩： Jack Lawrence, Peter Tinturin 歌： Billie Holiday
-------------------------------------------------------------

27. (034) Sometimes I'm Happy とくゞとくゞ

[JASRAC: 0S0-6520-7]

好きと嫌い不幸と幸せ取り混ぜて 君に魔法を掛けむと思つ

「解説」好きとか嫌いとか、不幸も幸せも、いろいろごちゃ混ぜにしてあなたに見せて、あなたが訳が分からなくて混乱してしまうとき、その隙に、ぼくの思い通りになるような魔法をあなたにかけようと思つ。

みんなと机を並べて仕事をしたのは、いつのことだったか。自分より低年齢の人たちに混じり、彼らの仕事に困惑し、ときには微笑しながら、机の間を泳ぐとき、自分の居るのは、今、目の前の会社の仕事空間とは少し離れた空間のように思った。投げたボールが誰かの手に届くとき、それは、思いもしなかった仕事の成果のように思われたり、誰かが、我知らず投げたボールを少し離れた空間で掴むとき、自分が何をしたかも分からずに、物事が片付いているのを見るかもしれない。そつでなく、投げたボールが届かなかったとき、ボールはこの空間のずれに落ちているはず。好きになったり、嫌いになったり、嫌いだから好きになったり、好きだから嫌いになったりを、こんな仮説で説明できないだろうか。

「訳詩」ときどき幸せ

ときどき幸せ

ときどき憂鬱

わたしの気分はあなた次第

雨が降ろつとかまわない

あなたの目に太陽がある

ときどき愛してる

ときどきは嫌い

嫌いになるのは

愛してるから

それが私

どうすればいい

幸せよ、あなたといれば

ときどき幸せ

ときどき憂鬱

わたしの気分はあなた次第

雨が降ろうとかまわない

あなたの目に太陽がある

ときどき愛してる

ときどきは嫌い

嫌いになるのは

愛してるから

それが私

どうすればいい

幸せよ、あなたといれば

幸せよ、あなたといれば、

幸せよ、あなたといれば

作曲： Vincent Youmans

作詩： Irving Caesar, Clifford Grey

歌： Nat King Cole

： Joni Mitchell

28. (120) My Way マイウェイ

[JASRAC:0M2-6435-5]

先に行きし人の宿りは何処にか広き野原に跡を尋ねむ

「解説」の道を通って先に行った人は、どこで泊まったりしたのだろうか。このただっ広い野原の中で、どんな風に進んで行ったのか知りたいと思う。

病院のベッドで、あるいは、思いがけないどことも知れない暗闇で、目を覚ますことのない眠りに入る。病院の手術前の麻酔注射で、明日の朝目が覚めるいつもの眠りのように眠る。川そばの、放って置かれた野原の葦の群れのように、集まって生えていく自分たち一人ひとりの顔を見ながら、パスカルの言った、「人間は考える葦である」という言葉の意味を思った。そよそよ風に揺れ、伸び立つ葦の群れ。それが自分たちであることは確かだ。地上の動物と植物の違いは、そんなにひどく大きくはないのかも知れない。

英語で歌う歌手は、「食べ尽くし、吐き出す」と歌い、表情を歪める。道はどこにもなく、移動する手段のない葦の見た夢にでもなるのだろうか。

「訳詩」マイウェイ

そして、今、終わる

最後のカーテン

みんなに言いたい

はつきり分かったこと

やるだけやって、

どんな道も歩き通した

でも、自分の道を

歩いたただけ

後悔は、少しある、

でも、言うほどのことではない、

するべきことをして、

最後まで、やり抜いた、

行く道を決めた、  
裏道にも、気をつけて、  
でも、自分の道を  
歩いたただけ

そう、そうさ、ときには、  
できないことまで、した、  
でも、疑いや、何があっても、  
食べつくし、吐き出した。  
まっすぐに、立ち向かい  
歩いた道

愛して、笑って、泣いた、  
十分に、失くした。  
今、涙はなく、  
どれも、楽しい思い出



自分のこれまでは、

言ってもいいなら、本当に、

「自分は何も無い、

道を歩いただけ」

人って何だろう、そのしたことって？

自分がないなら、何にもない。

素直に、そう思う。

そして今、膝をつき、

言葉はなく、倒れる、

歩いた道。

自分の道を歩いた

作曲： Jacques Revaud, Claude Francois

作詩： Gilles Thibaut, Lucien Thibaut

英詩： Paul Anka

歌： Frank Sinatra

29. (052) Cow Cow Boogie カウボーイブギ

[JASRAC: 000-5231-1]

町に近き牧場で牛を追うカウボーイ犬を追いつつ調子よく歌う

「解説」サンタフェの町の近くの牧場のカウボーイは、歌ったり、口笛を吹いたりしながら、犬を上手に使い、牛を追っている。その歌は、都会ではやっているジャズの曲のように調子がいいけど、少し訛っている。

木曜日の朝、早く家を出た。出勤の途中に、銀座の茶店でコーヒーを飲みながら、今日一日のことを考える。窓の外の通りは、おしゃやかな店、YAMAHAMAやLANVINが並ぶ。通りを歩く人はまだ少なく、通勤の人、老人、道路やお店の清掃の人が行き交う。ふと、サンタフェにあるという草原の牧場を思う。BGMはイーシーリスニングなピアノのポピュラー曲があくまでも柔らかに聞こえる。牧場では、馬に乗ったカウボーイが牛を追い、犬も何匹か、牛を追いつ返し、カウボーイの仕事を助ける。追う側は忙しく、追われる側は、ただ、自然の法則に従うだけの様に群れが流れる。カウボーイの思うのは、仕事の後の飲み屋、東部のジャズを演奏する楽団と歌手。そのメロディを口笛で吹いてみると、牧場の仕事の土の香りも、それはアスファルトで舗装された、あるいは敷石の通りの中を気持ちよく歩いて行く気分になる。ジャズのメロディがサンタフェのなまりでデフォルメされていても。

「訳詩」カウボーイブギ

サンタフェの草原でのこと、

ある日見た、牛を追うカウボーイ、

馬に乗り、聞こえるその歌、

とても変なカウボーイソング

町で覚えた、尻切れトンボ

カマタイイエイ

カマタイピティエイ

走れ、ドギーズ、元気に、

走れ、思い通りに、

走れ、ドギーズ、元気に、

いつも通りのフェアウエイ、

追って行く変なカウカウブギ、歌い、

(chorus)

そのカウボーイソング、  
ただ、すごい、

デキシード入りのアクセントは本物ウエスタン、  
ここで育ったそのままに、

スイングのハーフブリード、  
変なカウカウブギ歌ってる

カマタイイエイ  
カマタイピティエイ

カマタイイエイ  
カマタイピティエイ

作曲 & 作詩 :	Benny Carter, Gene De Paul, Don Raye
歌 :	The Judds
:	Ella Fitzgerald

30. ( ) Croce di Oro クローチェ・ディ・オーロ

[JASRAC:0C2-5301-5]

この後の航海を思い遠き日に心に秘めしことを忘れず

「解説」これから長い航海に出る。昔、思っていたことを実現するときが来たのだと思ふ。それは誰にも口に出していったことはなかったけれど。

ブラジルからもサンバチームが来て、サンバカーニバルのパレードを浅草でやっているのを見る。リオデジャネイロの喧騒、そして、丘の上に立つキリスト像。日本から見て地球の裏側の遠く離れた所の人たちの生活が、日本の浅草の三社祭の喧騒と重なる。

船で行く旅はどれほど長いものだろうか。外国に船で行くとき、そして、仕事先での仕事を終わり、日本への帰途に就くまでに、気の遠くなる時間の道のりがそこにある。

クローチェ・ディ・オーロ、金の十字架。金の文化を持ったマヤとかアズテカを滅ぼしたスペイン人、ポルトガル人の故国での出発の思い出が反映されているのだろうか。

「訳詩」クローチエ・デイ・オーロ

あなたは行くのね、明日の朝

遠く海の向こうに

あなたにあげる、このクローチエ・デイ・オーロ

あなたを無事に連れ帰ってくれる

離れている時間はつらい

教会のキャンドルが光る

この愛とクローチエ・デイ・オーロ

わたしは祈る、あなたの帰る日

好きなの、あなたを、とても

あの青い星が見える？

いつも、その星に言う言葉

その星があなたに届けてくれる

私たち、また会つ、ずっと先の明日に  
それまで神様護つてね

このクローチエ・デイ・オーロで

あなたは、この腕に戻るの

このクローチエ・デイ・オーロで

あなたは、この腕に戻るの

作曲 & 作詩 : Kim Gannon

歌 : Patti Page

31. (033) Smoke Rings スモークリング

[JASRAC:050-5350-1]

輪になりて煙草の煙連ねしを空しく消えぬ我が愛の如く

「解説」煙草の煙を輪にしてつきつき吐き出してみた。その輪になった煙は、少し上  
に上がって、まもなく、次々と消えて行った。それは、私の愛と同じように、  
どれも、一つ一つ、順に消えて行った。

ファントムバレードって何だろう。米軍の戦闘機に「ファントム」という機種があっ  
た。「オペラ座の怪人」もファントムだ。

煙の輪に連れて行ってと歌うとき、一緒に消えて行きたいということなのだろうか。  
空しく消えた愛の夢。ゆっくりした静かな夜に空白の時を埋める白い煙と、思い出を、  
同じ眼差しで見つめる人がいる。世をはかなむということだろうか。

夜去りて煙草の煙吐きおれば輪の連なりて空しく消えぬ

「解説」夜に煙草を吸って、煙を吐き出していたら、その煙は輪になって、そして、  
ただ消えていくだけだった。



「訳詩」 スモークリング

教えてどこに行くの

夜吐く私の煙

青くて白い輪は何をしてるの

どうして愛の夢を描いてるの

どうして愛の幻をいくつも消すの

パフ、パフ、パフ、パフ、心配はもつない

パフ、パフ、パフ、いつでも

空に小さな絹の輪を吐く

いとしいスモークリング、あなたと一緒にどうか行かせて

パフ、パフ、パフ、パフ、心配はもつない

パフ、パフ、パフ、いつでも

空に小さな絹の輪を吐く

いとしいスモークリング、どうか連れてって空に

あなたと一緒に

作曲 & 作詩： H. Eugene Gifford, H. Ned Washington  
歌： K. D. Lang

32. (029) On the Sunny Side of the Street 陽の当たるところを通り抜けて

[JASRAC:000-1840-8]

歩みいる暗き片側から道を替え明るき方を歩いて行かむ

「解説」今歩いている道は暗く、寒いので、反対側の、陽の当たっている明るい方の道を歩いて行くことにした。その方が暖かいし。

日本橋の三越寄りに橋を越えた交差点の角に、スタバと呼ばれるコーヒ屋がある。近くの人形町には明治座がある。その向こうに、隅田川が、川幅がマイルの川で流れ、その上を高速が行き交い、総武線の電車がガタガタと鉄橋を通過する。窓側の席は日本橋が目の前にあり、そこで、お茶を飲みながら交差点の人を見ていた。ちよつと、明後日から明治座で開く芝居の女優に似た雰囲気、女が交差点で振り向いた。どこか見えなくなり、そして、スタバの入り口で中を覗き、それから、外のテーブルの椅子に座った。自分の窓際の席の向こうに。しばらく以上の長い時間が過ぎ、彼女は席を立ち、後ろ手に、親指を、それも両手で、下向きに付き下げて、少し低く屈んだ。そして、もう一度、確信を持って、大きくはつきりした身振りで、その身振りを繰り返した。明るい表通りでの、そんな出来事を、時々思い出してみる。

「訳詩」陽の当たる通りに出よう

コートと帽子を取り

悩みは家に置き

足を向けよう

陽のあたる通りに

ドキドキしないか

君の足音のメロディー

生きるのは楽しい

陽のあたる道で

いつも歩くのは日影

憂鬱が次々

でももう気にしない

行く道を変えたのさ

どんなに貧しくても  
ロックフェラーさ、金持ちさ  
足を向けよう  
陽の当たる通りに



作曲：	Jimmy Mchugh
作詩：	Dorothy Fields
歌：	Billie Holiday

33. (057) Get Out and Get Under the Moon 月の光の照らす夜

[JASRAC:0G0-0740-0]

太陽は見ることを得ず 月は優しく青白き光で我を包めり

「解説」太陽は直接見ることはできない。月だったら直接見れるし、その青白い光も、優しく、自分の周りを包んでいる感じがする。

住んでいる町の駅から家に向かう帰り途に、まっすぐに続く長い坂がある。このあたりの住宅地のメイン通りで、幅の広い道に、今、通る車はほとんどない。夜11時ごろ、南東寄りから上る月が坂の上に丸く輝き、風もちよどよくそつと吹き過ぎるぐらいの中、上り坂を歩いた。東京で飲んだ帰り、一杯目のウィスキーの分は酔いは取れていると思うが、その後の2、3杯の分は、帰りの1時間ちよつとぐらいの電車でも取り切れなかったらしい。日本語のジャズ、「アメイジンググレイス」や「スマイル」を歌ってみた。

確かに、月は大きく、明るく輝いても、冬の夜、外を出て歩く人もいない。風邪を引きそうに寒いというほどではなく、酔いに任せて、日本語をジャズの音符の上に置き、大きな声で言ってみた。

月の光明るき夜の帰り道 覚束なくも酔いにまかせむ

「解説」月の光が明るい夜、家に帰る途中の道を、酔って、足元がふらふらするまま  
で歩いた。

「訳詩」月の光の照らす夜

夕暮れに何にも

することのないとき

本を読んだり、ゲームをする？

でも、何をして同じ！

ブルーな気持ちで

いたくないなら

すぐできる、易しい  
アドバイスがある

たった一人、いつもの夜  
たまらなく憂鬱、でも、  
帽子を手に、ドアを閉めれば、  
外は、月の光

デートのとき、いつもの夜  
あの子と会うなら、そうだよね？  
帽子を手に、ドアを閉めれば、  
外には、月の光

明るい、銀の月  
すぐに素敵な気分

帽子を手に、ドアを閉めれば、  
外には、月の光

ラ、ラ、見て空の星

甘い愛の夢

6月の夜なら

もしも一人、いつもの夜

調子が出ないとき

さあ、帽子を手に、ドアを閉めれば、

外には、月が出てる

明るい、銀の月

すぐに素敵な気分



帽子を手に、ドアを閉めれば、  
外には、月が出てる  
ラ、ラ、歩いて、キスして、  
お話とキス、  
恋人達の六月

雨の日の夜、部屋の中  
でも、魅惑の6月  
帽子を手に、ドアを閉めれば、  
外には、月が出てる

[Scatting]

作曲： Larry Shay
作詩： Charles Tobias, Jerome William
歌： Helen Kane

34. (013) Goody Goody よかったね

[JASRAC:0G0-2530-1]

我知らず春の野辺をぞ辿り行くに 思わぬ恋の闇に迷いぬ

「解説」春の明るい野原をどこにということでもなく歩いていて、いつのまにか日は暮れて暗くなり道に迷って帰れなくなってしまうみたい、思ってもみなかった人を好きになって、その好きになった気持ちはどうしようもなくなっている。

土曜日の午後、会社も休みの晴れた日に、散歩がてら、近くの海岸まで歩いた。いつものケンタッキーの2階の窓際の席で、コーヒートフライで少しの時間を海を見て過ごした。男と女が交際って、振ったり、振られたりしながら過ごす時期も大体はそんなに長いことではない。「ずるい」と思っても、相手にはわが身一つを扱い兼ねる事情もあったのだ。野生動物のラスカル、あらいぐま、には、ずるいと言われても、どうでもよいことに違いない。

「訳詩」よかったね

ほんとのことを知らなかった、そう、そうなの！  
今はどんな気持ちかわかったでしょ、そう、そうなの！  
すべて捧げた、私みたいに  
でも、振り向きもされない、さあ、どうするの？

そう、眠れず起きてブルース歌って、そう、そうよね、  
愛こそ大きなダイナマイト  
よかったあ、やったあ、あなたにも来たのよ、これで！  
それでいいのよ、そうなの！  
よかったね、ずるい人、あなたよ！

( good thing, got yourself a good thing  
It's a good thing, got yourself a good thing  
I won't let you go. )

ほんとのことを知らなかった、そう、そうなの！

今はどんな気持ちかわかったでしょ、そう、そうなの！

すべて捧げた、私みたいに

でもそれはコレクション、ナンバー92なの

そう、眠れず起きてブルース歌って

愛こそ大きなダイナマイト

よかったあ、やったあ、あなたにも来たのよ、これで！

それでいいのよ、そうなの！

よかったね、ずるい人、あなたよ！

作曲 & 作詩 :	Matt Malneck, Johnny Mercer
歌 :	Chicago
:	Julie London

35. (021) It's a Sin to Tell a Lie 嘘は罪

[JASRAC:010-1996-1]

嘘は罪なり 我のこといかにばかり愛するならむ試みに問う

「解説」嘘をつくのは罪。そうあなたに言うのは、あなたが、私のことをどのくらい愛しているのか試したいから、そう脅かして言うてみるの。

プログラムづくりで徹夜した帰りの朝、電車で湘南の海岸を過ぎ、家に着いて、朝食をする。取りあえず、そのまま眠るのは近くの野原を散歩してからと思い、少し疲れた脚でスニーカーを履き、出かけた。いつものように小川沿いの道から、山沿いの道でもない道を歩いていると、埋め込まれたコンクリート標石の出っ張りに躓いた。

「嘘は罪」、そう言うとき、罪という言葉は、そう受け取られることはなくて、ただ、「だめっ」と半分笑いながら言われるだけのことも知れない。その言葉の中には、アダムとイブの昔、イブに課された制裁への、ほんのちょっとした反抗の記憶が蘇る。

「訳詩」嘘は罪

Verse

嘘をつくのは悪いこと  
「愛してる」って言うけど  
本当かどうか知りたいの  
本当のこと、よく考えてね

Chorus

「愛してる」のは本当なの？  
嘘をつくのは罪  
数え切れない心が傷つく  
その言葉のために

あなたのことは好きよ、愛してる  
裏切られたら、死ぬわ  
「愛してる」って本当よね  
嘘をつくのは罪！

作曲 & 作詩 :	Billy Mayhew
編曲 :	Jim Bottorff
歌 :	Billie Holiday

36. (082) Sophisticated Lady キャリアウーマン

[JASRAC:0:050-7480-0]

身を売って仕事せしにあらず 楽しきとき心の底に寂しさの鳴る

「解説」自分の体を売る商売をして来たわけではないけれど、楽しく騒いでいるときも、心の中で何か寂しい気持がずっと残っていて、本当に楽しんでいるのではない自分がいつもいるの。

ビリー・ホリデイが歌っていた酒場で出会った女たち。会社勤めの女たちがどのくらいいたかは知らない。田舎を離れて、都会に来て、何がしかを男たちと張り合う女たちの戦いがあり、一人で室で泣いていた自分がいると思ったとき、自分が「ばかな女」と思われていることを赦したい気持ちになるかも知れないと思う。今も、ダイヤ、お酒、レストラン、煙草はともかく、変わってはいないと思う。

「訳詩」 キャリアウーマン

あなたの昔のロマンス、

あなたの胸に燃えた火

ある日ふらつき、揺れ始め、やがて消えて行った、

目の中で深く、醒めて、

愛に迷うことも終わり

時は流れ、あなたは変わった

今は、

タバコに、お酒、明日もなく、いい加減

ダイヤ光らせ、ダンスして、だれかとレストランに行く、

それでいいの、ほんとにそつなの？

そうじゃない、頭のいいあなたが、

昔失くした愛を思い、

誰もいないときに、泣くのね、

作曲：	Duke Ellington
作詩：	Mitchell Parish, Irving Mills
歌：	Billie Holiday
：	Sarah Vaughan



37. (031) Release Me その心をなごつ

[JASRAC:0P4-2487-6]

囚われし言葉から我を解き放し 剣にて断たむ優しく弛めむ

「解説」言葉に囚われてここから離れられないでいたように思う。それを、剣で断ち切るように強く思い切って切り離すか、それとも、暖めて、自然に緩めるかして、そこから解き放たれようと思つ。

新しく入社した会社の、毎朝の朝礼に出る。当番で、一人が、40〜50人の前に出て、「おはようございます」から、司会を進める。まず、自身の3分間スピーチで、自分のことや会社のことを何か話し、それから、全員で会社の標語や5カ条のモットーを叫ぶ。そして、「いらっしやいませ」などのお客様相手の言葉の練習だ、それで朝礼は終わり、それぞれの仕事に入り、気を遣い、仕事は進み、横道に入り、後退し、どこかに向かう。

そこにおいて、マンモスのように凍土の中に眠り、眠りから覚めるときは、氷河期が終わり、大河に水の流れが戻り、昔の暖かい何かの思い出があれば歩いて行けると思つた。

氷結の堅く凝りしマンモスの魔法の解けて立ち去るを乞う

「解説」マンモスがシベリアの凍土の中に凍って、固まっていたのが、その氷が溶けると、魔法が解けたように、自由に動けるようになり、そうして、どこへでも歩いて、出て行けるようになったマンモスは、それでも礼儀正しく、出て行かせてくれとお願ひするような優しい気持ちを持っていた。

「訳詩」そのてをはなして

その手を離して

もう愛していないから

むだな時間は罪

行かせて、愛したいから

見つけた、新しい愛、

彼の近くにいたい

キスも、あなたのは冷たい

だから、どうか行かせて

その手を離して

もう愛していないから

むだな時間は罪

行かせて、愛したいから

お願い分かって

いつまでもバカね

嘘を生きるのは罪

行かせて、愛したいから

その手を離して、もうさよなら

行かせて

作曲 & 作詩 :	Eddie Miller, Pilahi Paki, W. Stevenson
歌 :	Patti Page
:	Engelbert Humperdinck

38. (023) Johnny Guitar ジョニー・ギター

[JASRAC:010-1360-2]

繰り返し我を抱きし人の愛せるギターの音絶えて忘れず

「解説」私を愛してくれたあの人は、ギターをよく弾いていた。その音色は今も忘れずに、ずっと覚えていきます。

ジョニー・ギターの「ジョニー」ってどんな人が疑問に思った。明らかに何も仕事はなく、「日、ギターを弾いているらしく思った。日本で言えば、「桃太郎」や「わらしべ長者」のように、古い生活の記憶の産物ではないかと思った。インターネットで米国サイトの「質問.com」のようなところに聞いてみた。しかし、米国の白人らしい「ジョニー」は、その昔話を持つてはいなかった。普通にそこにいる普通の人で、ギターを弾いたりする、どこにでもいる若者という以上のことはなかった。

古く捨てられたギターの亡霊、今昔物語に出てくる、古く捨てられた器物の化身したもの、つくもがみ、というところかも知れない。とすると、この歌も鎮魂の歌にもなるのだろうかと思う。

「訳詩」ジョニー・ギター

弾いてギターを、何度でも

冷たい人、でも、やさしい

私、ばかね、いつもジョニー

ジョニー・ギターと呼ばれるあの男に

ジョニー・ギター、弾いて、何度も

どこでも、どこにいても、好き、

ひどくて、でも、やさしい人

誰とも違うジョニー

ジョニー・ギターと呼ばれるあの人

作曲： Victor Popular Young

作詩： Peggy Lee

歌： Peggy Lee

39. (038) What a Difference a Day Made 一日むくくは変わる

[ASRAC: 0W0-2060-7]

一日で我は変われり思わずも君の声今近く聞きしに

「解説」あなたが私を好きになり、今日はもうあなたと一緒にこうしているなんて、思ってもいなかったことです。それが、昨日のことで、この一日で私の人生と生きて行く環境はすっかり変わりました。

ビルの中を夜、機械設備のある室の施設を確認しながら歩いて行く。地下3階の駐車場を見回りながら、地下2階、地下1階へと上がる。ちょうどよい運動になるので、最近では体重は少し減り、それは却って健康にいいことなのだ。不審者や異変が発生したときの対応は実際にはまだない。1年の間には、そんなことも1回か2回か、頻繁にはなくても発生するのだろう。あるいは、2、3年の間にはあるかもしれない。新聞にも出ないような事件が日々起きているのかどうか、一回りした後、短い仮眠時間が取れる。もう、今日の日付になっていて、眠る間もなく、起きてしなくてはいけないことがある。

24時間で変わる世界。宝くじでも当たれば、どんなに変わることだろう。そのとき変わるの、世界ではなく、一人の人の何かなのだろう。

「訳詩」 1日ですべては変わる

今日はもう違うわ、

24時間で

陽がさして花が咲く、

雨だったのに

昨日はブルーよ、

今日は、あなたという

寂しい夜は終わり

私だけのあなた

1日で変わる、

目の前には虹

嵐は終わり

幸せな、どきどきのキス、

あなたのメニューに

ロマンスもある

今日はもう変わったの、

それはあなた

作曲 & 作詩： Maria Mendez Grever

英訳： Stanley Adams

歌： Dina Washington



40. (037) Try to Remember 6月の思い出

[JASRAC: 0T0-1846-6]

秋過ぎて夕暮れの光沈み行く 埋み火の熱を掘り起こして

「解説」秋も終わり、冬も近く、囲炉裏のそばで、その灰の中に埋めた炭火を掘り起こしながら、陽の光の消えて行く中で、いろいろなことを思いながら、あるいは、何も思うことなく、夕暮れの時間が過ぎて行きます。

家の近くの里山の荒地を散歩していたら、コゲラが数羽木に止まっていた。そういえば、今年、家の柿の木に1羽のコゲラが来て、木を叩く音を聞き、見て、デジカメで写真を撮った。もう何年も前にここに移り住んで、今までにコゲラを見たことはなく、ときどき、木を叩く音が里山の散歩のときに聞こえてはいたが。コゲラは漢字では啄木だという。思い出の中に青く揺れていた人、柳泣き、石川啄木がジャズの音色を聞いたことはなかったかも知れないが。

「訳詩」9月の思い出

思い出すの、あれは9月、

穏やかな、幸せな日よ

思い出すの、あれは9月、  
青い草、金色の穂よ  
思い出すの、あれは9月、  
優しく、ゆれていた人

思い出すの、思い出して、  
思い出よ、いつまでも…  
思い出すの、穏やかな日、  
柳泣き、ゆれるだけ

思い出すの、穏やかな日  
いつも夢は、すぐそこに  
思い出すの、穏やかな日、  
静かな愛は、燃えていた

思い出すの、思い出して、  
思い出よ、いつまでも…

(そう・・・今は12月、思い出のとき

いつものように、雪は降る

今は12月、思い出のとき

空しく、悲しみはない)

今は12月、思い出のとき

輝く9月を夢見る

今は12月、二人のため、

思い出よ、いつまでも・・・

作曲： Harvey Schmidt

作詩： Tom Jones

歌： Perry Como

41. ( ) As Time Goes By 時は流れても

[JASRAC:0A0-3710-2]

月の光と愛は色褪せることなく嫉妬と敵意も明く灯れり

「解説」月の光、そして、愛、その色は褪せることはありません。それと、嫉妬や敵意のような感情も、考えてみると、いつも、消えることなく、心の中にあります。それは、明るく輝いていると言っているいいかも知れません。

仕事を探しにハローワークに行く。紹介状をもらい、応募先のメールを聞いて、帰る。もしも、今までの仕事がすべてうまく行っていたら、定年となり、世の中と関わりなく、街を歩き、海辺を歩いていたのかも知れない。今、相変わらず、人との付き合いに、自分のアピールに、そしてその結果に一喜一憂し、月の光や、海辺の景色に、時を、一瞬にせよ、忘れ、好悪の感情の灯が明滅するにまかせる。宮沢賢治の「有機交流電球のひとつの青い照明」ということなのだろうか。



作曲 & 作詩 : Herman Hupfeld  
歌 : Dooley Wilson

42. (005) Diamonds Are a Girl's Best Friend 女の子はダイヤモンドがすき

[JASRAC:0D0-1680-7]

ダイヤこそ女心を知りつらむ 瞳の奥の冷たき光

「解説」ダイヤモンドは女の気持ちを知っているのだと思います。女の瞳の奥に、ダイヤモンドが輝いて見えることがありますから。そのとき、それは、いつも冷たく光っています。

銀座の中央通りを新橋側から、まっすぐ京橋に向かい歩く。銀座にこの数年で多くの欧米のブランド店が進出して、表通りを洋風の豪奢で飾り立てることになった。ティファニー、ハリーウィンストンはある、ヴィトン、エルメス、ディオール、シャネル、などなど。日本の宝石店には泥棒が入る。ショーウィンドウや店内のケースに置かれたダイヤモンドのカットはスクウェアだったり、ペアシェイプやバゲットだ。あるいは、今は、新しい名前のカットがあるかもしれないが。

当時で最初の洗濯機や掃除機が壊れて動かなくなったらどつしよつもない。そして、今までふんぞり返っていた男が、急にそわそわして、しおらしく家に帰るとき、株のチャートも急に下がっているはず。2010年の今にぴつたりの1930年。80年周期の波だろうか。そして、ダイヤモンドは変わらない。

「訳詩」女の子はダイヤモンドがすき

手にキスなんてとてもおしゃれ

でも、女はダイヤモンドが好き

最高のキス、でも家賃は溜まるし

洗濯機は直らない

女は年をとり男は冷たい

どっちも魅力をなくして行く

でも、スクエアカットやペアシェイプは変わらない

ダイヤモンドは女の味方

ほんとの心の愛もある

でもダイヤは女の味方

自由に秘密の愛が勝ちよ

少し甘えて、大きなバゲットがあればね

時はすぐたち、若さは消えゆく

体を曲げたらもどらない

でも、背中や膝が硬くなっても行くのよティファニー

ダイヤは女の味方

いつか、女の子に弁護士が要るとき

ダイヤは女の味方

社長がいきなりあなたを見染めても

ダイヤがないなら、断るのよ

株が高いとき、彼はあなたのもの

でも、下がりましたら気をつけて

それは、ろくでなしが家に帰っていくとき

ダイヤモンドだけが味方

作曲 & 作詩 : Jule Styne, Leo Robin

歌 : Emmylou Harris



43. (008) East of the Sun, West of the Moon 日は東、月は西

[JASRAC:011-9138-1]

どこか遠くに二人だけのお城がある朝の光に月傾けり

「解説」朝、陽の光が射し、月は地平線に落ちて行くのを見るととき思つのは、その、太陽や月のあるどこか遠くの方に、私たち二人のためのお城もきつと輝いて建っているということです。

今日、家の娘は泊りになるといふ。建物の窓の外を見ながら、何か、卒業論文とやらを書いていられるらしいその合間に、何の変哲もない通常のありきたりの夢想を無意識に紡いでいるのかも知れないと思う。夜が来て、朝になり、月が傾き、日が昇る頃、自分勝手な、睡眠と目覚めの時間、誰も通る人のない建物の外の景色、敷地の植え込みと草花、歩道の空間を眺めながら、永遠プラス1日の幸せな日々を思つのだらう、その1日が今日であることを願って。

「訳詩」日は東、月は西

昇る日、沈む月

愛の夢のお家を建てる

昼には太陽が、夜は月が近い

幸せに暮らすの

忘れないで、愛したこと

1日、2人、そして永遠

愛はいつまでも、続くもの

空の星は、愛の歌に

合わせて瞬く

昇る日、沈む月、そうさ、

昇る日、沈む月

作曲 & 作詩 : Brooks Bowman 歌 : Frank Sinatra
----------------------------------------------

44. ( ) Fallen(Autumn) Leaves 枯葉

[JASRAC:0A0-2251-2]

寒き夜に枯葉降り積む音すなり かすかに思い出の我に降り積む

「解説」寒い夜、外で枯葉が地面に落ちて積もる音が聞こえるような気がします。その音は、何かの思い出が自分の中に積もって行く音でもあると思います。

仕事先に新しく赴任した責任者は31才になったばかりという。社会のいろいろな場所から集まり、外国人も交えた部署でプロジェクトを推し進める。今度、新しい装置を映画館の受付自動機械として売り込もうというのだ。もう一頻り人生の仕事をし終えた初老の男に向かい、何事か不満を述べているのが聞こえる。言葉は、若い男の周りに舞い散る枯葉のように飛びすさび、吹き飛んで行く。うすっぺらな枯葉は室の中に静かに降り積もり、その中に思い出のようなものが熱を帯び、赤く光り、やがて消える。

シャンソンの「枯葉」を聞く。レンガの建物の外を、枯葉飛び散る中を歩いて行く人がある。日本の枯葉の冬、秋ではなく、三次達治の「……太郎の屋根に雪ふりつむ……」中で、眠る人がいる。

45. (010) A Foggy Day 霧の日に

[JASRAC:0F0-2350-9]

霧の日に大英博物館も陰れるを君歩み来る舗道光れり

「解説」ロンドンの大英博物館を見に行った日は霧が出て、曇った空で心も晴れない  
でしたので、ふと見ると、愛するあなたが歩いて来るなんて、一体どう  
したの。舗道も急に光りが射して来たように明るくなったし。私の心もすっ  
かり明るくなったの、今は。

遠くに暮らしている子供にメールを送る。返事はないかも知れない。ただ、時折の不  
意の電話や、パソコンでのスカイプの声で無事に彼地での日常が過ぎているのが分か  
る。

大英博物館の通りの角に立っているのは、きっとアメリカ人で、米国東部からロンド  
ンまでの時間的距離は、新幹線で東京から少し遠くまで行くくらいだ。

「訳詩」霧の日に

霧の日のロンドンの街、

沈む気持ち、悲しい

朝目が覚め、驚いたの、

大英博物館の輝きがもうない

寂しくて怖いの

でもなくならない奇跡、

あなたがそこに立ってる

だからロンドンの霧の日も、太陽がまぶしい

作曲： George Gershwin

作詩： Ira Gershwin

歌： Billie Holiday

46. (022) It All Depends on You あなた次第なの

[JASRAC:010-7461-9]

我が心近づくも離れるもあなた次第にて哀しきときもそれもよしとせむ

「解説」私の気持があなたから離れたり、近づいたりするのは、一つはあなた自身への態度や行動に関係することなのに、そういうあなたを好きになったのは私なのだから、もし私が悲しい気持ちになったとしても、私はそのままでもいいし、あなたはあなたのままでもいいと思つた。

男が、「だめだよ、これじゃ使えない。」と、青白い顔で言う。予定外のことなのか、ボードにコンデンサーなどの部品を載せて、半田付けした簡単な回路が動いた。本人は真顔で、いくつかの理由と判断を述べ、こちらも、真面目で、深刻な表情を作った。

自分の仕事の成果は、それを尋ねる人とも無関係ではない。

自分の幸せが、あなたのことと関係なく、独立に決まるわけではなく、あなたを考えやすることが、あなたの世界を変えていることに気づくのはまだ先のことらしい。

「訳詩」あなた次第なの

幸せなの、不幸なの

私はいい子、そして悪い子

それは、あなた次第

人ごみに私はひとり

みじめでも、えらいの

それはあなた次第なの

お金を貯め、そして使う

明るく生きる、それともおしまい

あなたのせいよ、私のことみんな、

乞食にもなる、王様にもなる

昔のどんな人にも

それはあなた次第なの

作曲： Buddy G. DeSylva, Edward D. Ballantine

作詩： Lew Brown, Ray Henderson

歌： Billie Holiday

47. (068) Love for Sale 愛、売ります

[JASRAC:0L0-4180-8]

真実の愛以外はあるという愛を並べて売りし店あり

「解説」あらゆる愛の形を並べて売っている店があったけど、そこには、真実の愛だけは置いてないということだった。

仕事の面接で会社を訪れる。早めに着いて、時間潰しにタリーズでお茶を飲む。午前10:30。隣の席で3人の主婦がおしゃべりをする。今の時間、子供を幼稚園か保育園かに送り届けた後なのだろう。子供の話、旦那の話。1人は妊娠中らしく、他の2人は、「もう作らない」とか、「まだ大丈夫」とか、それと旦那がどのくらい家事をするかとか、などなど、EVCで見たような、聞いたような声でもある。それぞれの愛は、適正価格で売れたらしい。

愛の売り物は、誘いはするものの、あくまでも買うのはあなたの意思で買うのだ。いろいろな売り物があり、詩人の歌う愛はやがてあきてしまう単純なものに見えるという。こんな歌が石川啄木の歌集の中にもあったかも知れない。



「訳詩」愛、売ります

ラブフォーセール

売るわよ、おいしい愛、

ピカピカの愛、少し古い愛、

ラブフォーセール

買う人？

お試しで、どう？

天国行きの切符、欲しい人はだれ！

ラブフォーセール

詩人の愛は、幼いもの、

私はもつと色々愛を知ってる、

愛のスリルが欲しいなら、私に任せて、

新しいの、古いの、本物以外、

ラブフォーセール、  
売るわよ、おいしい愛、  
売り物は2階に、さあ、  
ラブフォーセール、  
付いて来て、

作曲 & 作詩： Cole Porter  
歌： Billie Holiday

48. (053) Danny Boy タニーボーイ

[JASRAC:015-4842-4]

覚えたる君の足音に懐かしく迎えむ里の花散りにけり

「解説」あなたの故郷にいて、聞き覚えのある足音を懐かしく聞きました。花の季節も少し移り、今、散りかかっています。

去り行きし君を迎えむ我が里の春としなくも飾り尽くしつ

「解説」離れていた故郷に帰ってきたあなたのために、今、春ではないのですが、景色は、いっぱい飾りつけで飾られています。

今日、新橋の駅から銀座の方に歩いて行くとき、珍しくチンドン屋で景気をつける本日開店初日の寿司屋があり、新しい衣装の四人が楽器を吹き鳴らし、叩き、ビラを配っていた。ちょうど11時、今始めたところだったのか、ビラを見て、春らしいネタのメニューに、入り口の前に足を向けると、「今、開店です」の声、入ると、二階に案内され、二階では、全員総出の「いらっしやいませ」に驚いた。開店第1号の客だったのか。定番の季節の6貫にぎりに、単品の本まぐろを景気つけに頼み、そして、炙りまぐろがサービスに出てきた。

雑事を済ませたその日、応募した仕事に、2件面接のオファーがあり、家に帰ると、

思いがけない知らせ、役所からの年金支払通知書がポストにあった。  
その日、母の命日であると妻が言った。

「訳詩」ダニーボーイ

Oh、ダニー、マイボーイ、ザパイプスの声が

谷間に響き渡り

夏過ぎて、バラも散り行く

あなたは行く、私は待つ

帰ってよ、夏の草の中

それとも、白い雪の谷間に

日差しの中、それとも陰で

私は待つ、Oh、ダニー、可愛い、マイボーイ

あなたは帰り、花も終わり  
もし我が死すでにあれば…、いつかはね  
私の眠る場所で  
膝を折り、さよならを言つ、  
あなたの足音を聞いて、  
私はなごみ、やすらか、  
愛していたと告げる声に、  
眠り穏やかに、あなたを待つ

作曲：	traditional(Ireland)
作詩：	Frederic E. Weatherly
歌：	John Mcdermott



## 拾遺

ほかに、いくつか物語のない歌があります。いつか、その物語が見つかることを思い、残簡として記し置きます。

### Blue Christmas ブルークリスマス

雪のないクリスマスの日 青色の発光ダイオードをツリーに飾れり

「解説」クリスマスの日には雪はなくて、少し物足りなかつたのですが、新しい発明の青色発光ダイオードの光をクリスマスツリーに飾ったら、少し、嬉しい気持ちになりました。

### (091) When You're Smiling 君微笑むとき

微笑みと笑いと区別付け難み 笑うとき遠く雷響けり

「解説」微笑と笑いの違いはあると思う。笑うと大きな音が跳ね返ってくるような気がする、微笑に音はないけれど。

微笑みて泣くとき世界は驚かむ己が心を測りかねつつ

「解説」微笑しながら、泣いたら、自分の気持ちは何なのか、自分でも分からないと思つ。

(133) The Best Thing in Life Are Free それは最高の人生

月も花も鳥も日は暖かくて星も愛もすぐそこにある

「解説」月もある、花もある、鳥も鳴き、日は暖かく、星も近くに見え、愛もすぐそこにある。そんな人生は最高だ。

月も花も鳥は飛び日は暖かく星と愛とを誰か匿せる

「解説」月もある、花もある、鳥は飛び、日は暖かい。そんな楽しい世界にいて、星や愛を、隠してしまつような意地悪な人はいないと思つ。



最高のものはすぐそこにある いつとは言わず愛も訪ひ来む

「解説」人生の最高のものは、すぐそこに、身近なところにあるのだから、いつとははっきりは言えないけど、愛だっけきつとあなたのところについていつか来ることになってます。

(043) Amazing Grace アメイジング・グレイス

嘆きつつ歌うとき思い出の色鮮やかに寝入りし後の夢ぞ楽しき

「解説」悲しくて、泣きながら歌うとき、楽しいときの思い出は鮮やかに蘇り、そのまま眠ったら、きつと夢は楽しい夢を見られそうだ。

The Song Is Ended 歌声は消えて

誰も同じ曲を聞けども それを歌う声はそれぞれの声で歌ひぬ

「解説」曲のメロディは同じものは同じものと誰でも分かる。でも、それを歌っている人の声は一人ひとり違い、それぞれの人に対して、その人にだけの特別の思い出があるのを思い出させる。

Moon River ムーンリバー

月と川と夜静まりて大空に虹の懸かれる明日を思ひぬ

「解説」静かな夜に、川とその上の月、暗い広い空を見ながら、明日の虹の懸かった晴れた日の空を考えてみた。

二人して虹の上にて出会ひなむ 広き河に月白く上れり

「解説」虹の、ちょうど一番上のところで二人で出会えたらいいね。今は、目の前には、夜の広い河があり、そこに月が白く上って来ているのを見ている。

(061) It's Only a Paper Moon ペーパームーン

紙の月と誰か知りけむ 君の愛を己が心に確かむるまで

「解説」あの月が紙で出来ているかどうかどうやって分かるというのだろうか。あなたに対する私の愛は、自分の心にいつも聞いて、本物だということは分かっている。

紙の月と誰か知りけむ あなたの私がいれば紙とや思はむ

「解説」あの月が紙で出来ているかどうかどうやって分かるというのだろうか。私を信じてくれているあなたがいる限り、あの月のことも、紙だとは思わない。

紙の月と誰か知りけむ 我を思ふ月なればなを紙とや思はむ

「解説」あの月が紙で出来ているかどうかどうやって分かるというのだろうか。私を愛してくれている月ならば、なおのこと、紙だとは思いません。

うたかたの世にしありせば 面白き騒ぎも果てむ紙の月の下

「解説」はかない人生なのだから、面白く騒いでも、それも終わりのときがあり、そのときには、輝いていた月も、結局、紙で出来ていたことに気がつくことになる。

That Old Feeling オールドフィーリング

袖近く人は通りぬ 燃えさしの燃えし心は忘れずぞあらむ

「解説」昔の恋人とすれ違ったとき、何か気持が高ぶってしまったて、あの人のことを忘れないでいる自分に気がついた。

(055) Dream a Little Dream of Me 私のじや夢に見て

我が心眠れずにいて 眠りけむきみが心に我が夢を見せむ

「解説」眠れずにいる夜、もう眠っているあなたの夢のなかに私が入って行きたいと思う。

我が心眠れずにいて 眠りけむきみが心に安居し居らむ

「解説」眠れずにいる夜、眠っているあなたの心の中に、そっと入っていたい。



## 後記

スタンダードジャズの曲の歌を、日本の古典文学の形を真似て、その歌に取り込みました。そのときそのときに頭に浮かんだジャズ歌であり、多感な時代を懐かしむ、思いつきでもありません。そして、意外なことに、伊勢物語のことばの意味や、書かれた理由、その気持ちも共感できるものでした。

千年前に書かれたことばを、後に文学に拾い上げた能楽の謡本がありますが、遠く離れたところで発生したことばを、今の時代に拾い上げるという点では、共通点もあるジャズ歌の和訳が、伊勢物語の構成に親近感を持ったことは偶然の思い付きではないようです。もしかしたら、ものがたりのまだない歌に、ものがたりが添えられ、また、新たな歌ものがたりが、他のだれかの手によって追加されることもあるものだと思います。初稿48段のこのものがたりが、いつか、100数段まで進むことは、自分でも考えていることであり、そのことの楽しみが理解されるようになることを疑う理由はありません。

今回、第37段は改訳版を載せた。また、いくつかの印刷上の誤り(第33段など)を訂正した。

2015.10.20 Tue BTE





# 曲名索引

## 曲名

A Foggy Day 「霧の日に」	45	JSB
Ain't Misbehavin' 「正しく生きて行く」	12	001
Alexander's Ragtime Band 「アレキサンダース・ラグタイム・バンド」	18	041
All the Way 「いつでも どこまでも」	6	002
Amazing Grace 「アメイジング・グレイス」	拾遺	043
Am I Blue 「ブルーな気持ち」	21	003
As Time Goes By 「時は流れても」	41	
Besame Mucho 「ベサメムーチョ」	24	046
Blue Christmas 「ブルークリスマス」	拾遺	
Come on-a My House 「家においでよ」	9	006
Cow Cow Boogie 「カウボーイブギ」	29	052
Croce di Oro 「クローチェ・デイ・オーロ」	30	
Danny Boy 「ダニーボーイ」	48	053
Diamonds Are a Girl's Best Friend 「女の子はダイヤモンドがすき」	42	005
Dream a Little Dream of Me 「私のこと夢に見て」	拾遺	055

曲名

East of the Sun, West of the Moon	「 <b>日は東、月は西</b> 」	段	JSB
Fallen(Autumn) Leaves	「 <b>枯葉</b> 」	43	008
Foolin Myself	「 <b>自分でなぐつ</b> 」	26	011
Get Out and Get Under the Moon	「 <b>月の光の照らす夜</b> 」	33	057
Goody Goody	「 <b>ちかいたね</b> 」	34	013
I'm Confessin	「 <b>隠しつね</b> 」	13	017
I'm Gonna Sit Right Down and Write Myself a Letter	「 <b>自分に書く手紙</b> 」	1	018
In the Shade of the Old Apple Tree	「 <b>林檎の樹の下</b> 」	4	019
I Surrender, Dear	「 <b>もつあなたのもの</b> 」	16	020
It All Depends on You	「 <b>あなた次第なの</b> 」	46	022
It's a Sin to Tell a Lie	「 <b>嘘は罪</b> 」	35	021
It's Only a Paper Moon	「 <b>ペーパームーン</b> 」	拾遺	061
I Wanna Be Loved by You	「 <b>あなたに愛われた</b> 」	2	063
Johnny Guitar	「 <b>シモニー・ギター</b> 」	38	023
Love for Sale	「 <b>愛、売じま</b> 」	47	068
Love Me Tender	「 <b>ラブミーテンダー</b> 」	10	

曲名

Mack the Knife 「マック・ザ・ナイフ」	17	段	JSB
Moon River 「ムーンリバー」	17	拾遺	024
My Funny Valentine 「マイファニーバレンタイン」	19		073
My Way 「マイウェイ」	28		120
On a Hill by the Bay (港の見える丘)	8		
On a Slow Boat to China 「ボートでゆっくり、チャイナ」	23		075
On the Sunny Side of the Street 「陽の光を通りに出かける」	32		029
Once in a While 「ときどき思い出すね」	22		028
Pennies from Heaven 「空から銅貨が降ってきた」	14		030
Release Me 「自由になれ」	37		031
Save the Last Dance for Me 「ラストダンスは私に」	7		040
Smoke Rings 「スモークリング」	31		033
Sometime I'm Happy 「ときどき幸せ」	27		034
Sophisticated Lady 「キャリアウーマン」	36		082
South of the Border 「国境の南」	5		035
Stars Fell on Alabama 「星降るアラバマ」	3		083

曲名

Tennessee Waltz 「テネシーワルツ」	11	段	JSB
That Old Feeling 「オールドフィーリング」	拾遺		036
The Best Thing in Life Are Free 「それは最高の人生」	拾遺		133
The Song Is Ended 「歌声は消えて」	拾遺		
Try to Remember 「6月の思い出」	40		037
We Three 「私たち」 3人」	15		089
What a Difference a Day Made 「1日すべては変わる」	39		038
When the Saints Go Marching In 「聖者の行進」	20		090
When You re Smiling 「君微笑むとわ」	拾遺		091
Where or When 「どこかでいつか」	25		039





ジャズ伊勢物語 第二版

著者 美艇 香津

連絡先 fct\_tar123@live.jp

発行日 二〇一五年十一月二十六日

印刷所

「ジャズ伊勢物語 日本語で歌うジャズ詩<sup>[1]</sup>」(コミックマーケット78)  
二〇一〇年四月二十八日 初版第一刷発行







